



# 京都先端科学大学 大学院

---

GUIDE BOOK 2020

- 経済学研究科 [修士課程]
- 経営学研究科 [修士課程]
- 人間文化研究科 [修士課程]
- バイオ環境研究科 [博士課程前期・後期]
- 工学研究科 [博士課程前期・後期]

## ▶ 沿 革

- 1951年 3月 学校法人京都学園を創立
- 1969年 4月 京都学園大学開設
- 1995年 4月 大学院経済学研究科  
修士課程開設  
大学院経営学研究科  
修士課程開設
- 2002年 4月 大学院人間文化研究科  
修士課程開設
- 2010年 4月 大学院バイオ環境研究科  
博士課程(前期・後期)開設
- 2019年 4月 校名変更  
京都先端科学大学 大学院
- 2020年 4月 大学院工学研究科  
機械電気システム工学専攻  
博士課程(前期・後期)開設

## C O N T E N T S

|              |   |
|--------------|---|
| KUASの注目トピックス | 2 |
|--------------|---|

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 工学研究科                   | 4 |
| 機械電気システム工学専攻(博士課程前期・後期) |   |
| ※2020年4月開設              |   |

|          |   |
|----------|---|
| 税理士養成コース | 6 |
|----------|---|

|             |   |
|-------------|---|
| 経済学研究科      | 8 |
| 経済学専攻(修士課程) |   |

|             |    |
|-------------|----|
| 経営学研究科      | 10 |
| 経営学専攻(修士課程) |    |

|              |    |
|--------------|----|
| 人間文化研究科      | 12 |
| 人間文化専攻(修士課程) |    |

|                    |    |
|--------------------|----|
| バイオ環境研究科           | 16 |
| バイオ環境専攻(博士課程前期・後期) |    |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 2020年度大学院<br>入学試験ガイド | 20 |
|----------------------|----|

|                      |    |
|----------------------|----|
| 大学院長期履修<br>学生制度のお知らせ | 21 |
|----------------------|----|

|      |    |
|------|----|
| 交通案内 | 21 |
|------|----|

---

# 大学は、変わる。 生まれ変わる。

京都先端科学大学は総合大学として、

極めて広い分野で活動する新しい大学に生まれ変わります。

本学の大学院は、この新しい大学の最高位の学位取得を目指す教育組織です。

大学院修了生は、現代社会が直面する

近未来の困難な課題や多様な社会ニーズに主体的に対応するため、

それぞれに重要な役割を果たします。

ロボットや自動機械などのテクノロジーの進化は、

工場や働く場だけでなく、

町に、家庭に深く関わるようになるでしょう。

そのときに求められるのは、人間の行動を深く理解した上で

それらを社会実装することであり、そのために必要な多様な学術です。

本学では、高い専門性を備え、実践的な英語力を持ち、

国際社会人としての基礎能力に富んだ人材を育てます。

世界が必要とする学術と人材を輩出する大学として、

京都先端科学大学のブランドを学生、教員、職員がともに築きます。

そして、学生の皆さんが描く夢、未来を実現できるよう、

教員、職員は一丸となって支援いたします。



学長

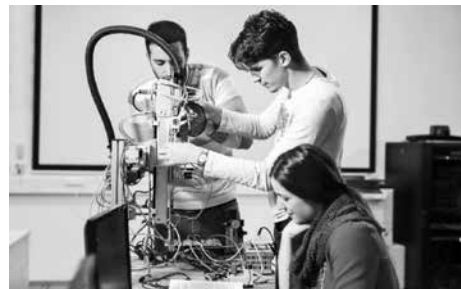
**前田 正史**

工学博士。東京大学 工学部卒／東京大学大学院 工学系研究科 金属工学専攻 博士課程修了。東京大学 生産技術研究所所長などを経て、東京大学理事・副学長を歴任。2016年10月～2019年3月まで日本電産株式会社生産技術研究所所長。研究分野は、「金属生産工学」「資源リサイクル」。2018年4月より京都学園大学副学長、2019年4月京都先端科学大学学長に就任。

# 新しいステージへ進む、KUAS の注目トピックス

## 工学研究科2020年4月開設。 イノベーションをもたらすエンジニア・研究者へ。

次世代の機械電気システムに必須の高度な専門知識を修得し、新しい発想で産業にイノベーションをもたらす新たな価値を生み出すことができる高度専門技術者・研究者の育成をめざします。博士課程後期を設け、社会的な課題を解決に導いていく問題発見・解決能力の育成にも力を注ぎます。



## 工学研究科の学びの舞台となる 南館(工学部棟)が誕生。

先進的な学習環境が整う工学部棟を新設。最先端の設備を活かした実験など、実践的な学びに打ち込みます。世界から優秀な学生が集う学生寮も併設しています。



※工学部棟完成予想図 2020年4月開設



## 自由に使用できる多目的スペースで 学生たちのコミュニケーションを活性化。

2019年4月、京都太秦キャンパスに新しい校舎「西館」が誕生しました。経済・経営研究科と人間文化研究科の拠点となる校舎で、明るく開放的な空間が特長です。またラウンジスペースやアクティビティールームなど学生同士の交流を深める場も充実。学習意欲と好奇心を刺激する場所。それが「西館」です。

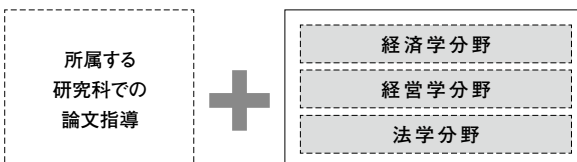


# 大学院で学んで資格をめざす資格支援の3つのプログラム

## 1 共通プログラムで 資格取得をめざす、税理士養成コース

今日、税理士が税務の専門家として果たす役割がますます重要になっています。本学の大学院では経済学と経営学の2つの研究科共通プログラムとして、「税理士養成コース」を開設しています。学生はいずれかの研究科に所属しますが、資格取得に必要な、それぞれ分野で開講される科目の修得単位はすべて「所属研究科の修了に必要な単位」として認定されます。本コースは、これからの時代の税理士をめざす人のために役立つカリキュラムを提供します。

### ▶税理士養成コース修了に必要な科目



## 2 FPの国際資格「CFP」の受験資格を 取得できる、CFP認定教育プログラム

世界水準のファイナンシャル・プランニング・サービスが提供できるプロであることの証明、それが国際資格「CFP」。その審査試験受験に必要な資格を取得するためのプログラムです。この資格を得るには、国内資格であるAFP認定を経由することが一般的でしたが、本学の大学院で経済学と経営学の2つの研究科の所定科目群（右図参照）の単位を修得することにより、AFP認定者でなくてもCFP資格審査試験を受験することができます。



### ▶CFP受験に必要な科目群

|                         |            |
|-------------------------|------------|
| 金融資産運用設計                | タックスプランニング |
| 不動産運用設計                 | 相続・事業継承設計  |
| ライフプランニング・リタイアメントプランニング | 演習など       |
| リスクと保険                  |            |

## 3 臨床心理士と公認心理師 の受験資格を取得できる、 臨床心理学コース

対人援助や心理カウンセリングの分野で活躍するには、臨床心理士や公認心理師は欠かせない資格です。臨床心理学コースは、日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院。本コースを修了することによって、臨床心理士資格試験の受験資格を取得することができます。臨床心理士や公認心理師の資格があれば、医療・教育・福祉・司法・産業などの分野で幅広く仕事をすることができます。

## 3つのポリシー

### アドミッションポリシー

各研究分野の高度な学識と先端的な知識や技能の修得を通じて社会に貢献しようとする意欲の高い人を求める。

### カリキュラムポリシー

各研究分野の卓越した学識と応用力を修得できるようにカリキュラムを編成する。

### ディプロマポリシー

各研究分野の学術研究者や高度専門的職業人として活躍するのに必要な識見を修得した者に学位を授与する。

## 教育上の目的

### 本学大学院の目的

本大学院は、京都先端科学大学の建学の精神を踏まえて、教育基本法及び学校教育法に基づき、専門分野における学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、社会の進展に寄与することを目的とする。

### 本学大学院研究科の目的

本大学院経済学研究科は、現代経済社会の特性を踏まえつつ、国民生活の環境変化に伴う諸問題を分析し、広い視野に立って深い学識を修得し、高度な専門性の求められる職業を担うことのできる人材の育成を目的とする。

本大学院経営学研究科は、国際化・情報化・コンプライアンスの欠如といった社会環境の著しい変化の中にあって経営組織体の内外で生ずる関連諸現象に関して、経営学的側面の理論的かつ応用実践的な専門能力を有する有為の人材育成を教育目標としている。

本大学院人間文化研究科は、人間の心理、社会の態様、文化の機能を多角的に解明する学問体系の構築を図り、歴史的な視点を踏まえて、現代社会が抱える諸問題の解決に寄与できる人材を育成することを目的とする。

本大学院バイオ環境研究科は、多様な生き物と共生できる持続可能な地域環境（バイオ環境）を作り上げることが目標とし、そのために、バイオ環境をデザイン（設計）する領域の発展と、これに対応したバイオテクノロジーと環境学を連携させた広い視野を持つ人材を養成することを目的とする。

# 工学研究科

京都太秦キャンパス

Graduate School of Engineering Division of Mechanical and Electrical System Engineering

機械電気システム工学専攻 博士課程前期／博士課程後期  
(Master's Program) (Doctoral Program)

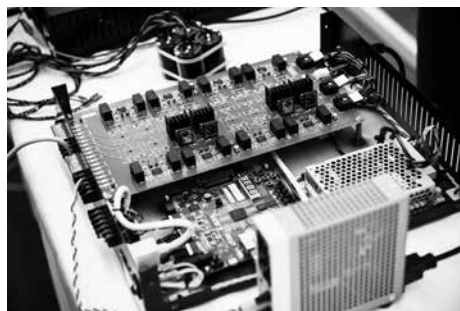
CONCEPT

研究科コンセプト

キーワードは“創造”。  
複数分野を統合するアプローチで、  
「新たな技術や学問を創り出せる人材」を育成する大学院。

新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成します。

学生はグローバルに活躍する国際色あふれる教員陣が最先端の研究設備を揃えた研究環境で ORT (On the Research Training) を実施します。



## 博士課程 前期

### 養成する人物像

機械電気システム工学分野を構成する材料、エネルギー、情報、システムのいずれかの領域を中心として、次世代の機械電気システムに必須の専門領域の高度な知識を他領域の知識と関連づけながら修得させることによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる専門技術者及び高度専門技術者を養成します。

### 修了後の進路

メーカーの設計・生産・開発・品質管理の各部門の高度専門技術者、研究者

## 博士課程 後期

### 養成する人物像

機械電気システム工学分野を構成する材料、エネルギー、情報、システムの4領域のうち専門とする1領域を深く学修し、同時に関連する3領域の知識も深化させることで、それぞれの高度な専門的知識に加え、領域横断的な総合領域において高度な専門的知識を深化させ、多様な学問分野の動向と社会ニーズを踏まえた社会的ニーズの高い問題発見能力を有し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる研究者を養成します。

### 修了後の進路

メーカーの研究・開発部門における研究者および高等教育機関、高等研究機関における研究者、教員

CURRICULUM

カリキュラム

次世代の電気機械システムに必須の高度な専門知識を修得し、新しい発想で産業にイノベーションをもたらして新たな価値を生み出すことができる高度専門技術者・研究者の育成をめざします。

### ■博士課程前期

| 研究分野<br>関連項目 | 研究分野<br>関連項目                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                     |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | <input type="checkbox"/> 先端機械電気システム工学通論<br><input type="checkbox"/> MEMS 技術と材料<br><input type="checkbox"/> システム設計論<br><input type="checkbox"/> スクリプト言語と仮想マシン | <input type="checkbox"/> 大学院エンジニアのためのコンピュータ数学<br><input type="checkbox"/> 計算材料科学特論<br><input type="checkbox"/> ロボティクス特論<br><input type="checkbox"/> 風力発電テクノロジー | <input type="checkbox"/> エレクトロニクス材料の物理と化学<br><input type="checkbox"/> リモートセンシング<br><input type="checkbox"/> 半導体電力変換技術<br><input type="checkbox"/> 半導体パワーデバイスとモジュールのコンピュータ支援設計<br>など |

※内容は予定であり変更となる場合がございます。

### ■博士課程後期

基本的には上記博士課程前期の科目に加え、機械電気システム特論(材料)、同(エネルギー)、同(情報)、同(システム)の4科目を開講する。

## ■博士課程前期

1. グローバルな視点で社会の未来に繋がる課題の解決に意欲をもって携わりたい者。
2. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野の基礎的な知識を有している者。
3. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野に科学的・学術的な観点からアプローチし、専門性を深めて課題に挑戦する意欲を有する者。

## ■博士課程後期

1. グローバルな視点で社会の未来に繋がる課題の解決に意欲をもって携わりたい者。
2. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野の専門的な知識を有する修士またはそれと同等の学力を持つ社会人。
3. 機械工学と電気工学に跨る分野もしくは、機械電気システム工学分野に科学的・学術的な観点からアプローチし、専門性を深めて、複雑で複合的な問題に挑戦する意欲を有する者。

|                           |                     |                            |
|---------------------------|---------------------|----------------------------|
| Ian Piumarta 教授<br>博士(工学) | 今井 欽之 教授<br>博士(工学)  | 沖 一雄 教授<br>博士(博士(都市・地域計画)) |
| 田畑 修 教授<br>博士(工学)         | 中村 康一 教授<br>博士(工学)  | 福島 宏明 教授<br>博士(情報学)        |
| 堀井 滋 教授<br>博士(工学)         | 岸田 逸平 准教授<br>博士(工学) | 高橋 亮 准教授<br>博士(理学)         |
| 西 正之 教授<br>博士(工学)         | 佐藤 啓宏 講師<br>博士(工学)  | Salem Ibrahim 講師<br>博士(工学) |
| Zilu Liang 講師<br>博士(工学)   |                     |                            |



工学部 学部長 (就任予定)

田畑 修

工学は、あらゆる産業や生活と深く結びついています。どんなものづくりにも工学が必要であり、医療や農業の進化も工学とは切り離せません。なかでも機械電気システム工学はこれからの産業の核となります。例えばロボットはこれから先、産業用だけでなく医療用・家庭用にも展開されていくでしょう。機械電気システム工学の専門知識と創造力を身につければ、ほぼすべての分野で活躍できます。新しい学びの場で、これからの社会を動かす専門知識と創造力を身に付けませんか。

## 略歴

名古屋工業大学計測工学科を卒業。(株)豊田中央研究所、立命館大学理工学部を経て、京都大学大学院工学研究科教授へ。フライブルク大学、スイス連邦工科大学、清華大学などの客員教授。専門分野は、ナノ構造科学、マイクロ・ナノデバイス、計測工学など。

# 税理士養成コース

京都太秦キャンパス

Common Program for Attaining Certified Public Tax Accountancy(CPTA)Status

経済学研究科 経営学研究科 共通プログラム

CONCEPT

研究科コンセプト

## 経済、法務、会計の各領域にわたる知識と実務能力を備えた専門的職業人を育成します。

税理士は、税務の専門家として企業が税務署に提出する申告書の作成を代行するだけでなく、決算書類の作成や会計帳簿の記帳代行などの会計業務、そして経営指導業務も担っています。さらに税理士は近年、民間企業の会計参与や地方公共団体の外部監査人としても認定され、より幅広い職域で活躍できるようになりました。したがって、こうした税理士に期待される職務遂行のためには、これまで以上に幅広い専門的な知識が不可欠であることはもちろん、公正で透明な税務行政に貢献できるような高い職業倫理意識を持つことが要請されています。本学大学院の税理士養成コースは、経済学と経営学の2つの研究科による学際的な共通プログラムを通して、このような時代的要請に応え、税務・会計領域における専門的職業人の育成をめざしています。



### 目指すキャリア

#### 中小企業における経営支援の担い手

☐ 税理士

#### 民間企業・公務員における法務・会計の担い手

- ☐ 企業内税理士
- ☐ 国税専門官

### ※ 学位取得による税理士試験の科目免除制度について

本学大学院を修了し、修士論文を国税庁・国税審議会に提出して審査に通れば税理士試験の一部科目の試験免除を受けることができます。

本学税理士養成コースの場合、税法科目免除を希望する人は経済学研究科

に、会計学科目免除を希望する学生は経営学研究科に、それぞれ所属することになります。一つの研究科を修了した後、もう一つの研究科に入り直す、いわゆるダブル・マスターによって両方の科目免除を得ることも可能です。

| 研究科    | 修士論文の内容  | 得られる学位  | 試験免除の内容  |
|--------|----------|---------|----------|
| 経済学研究科 | 税法に関する論文 | 修士(経済学) | 税法2科目免除  |
| 経営学研究科 | 会計に関する論文 | 修士(経営学) | 会計学1科目免除 |

税理士養成コースは、経済学研究科と経営学研究科の共通プログラムであり、大学院生は、希望する演習担当者に従っていずれかの研究科に所属することになります。演習指導と必修科目は各研究科の規定に従いますが、次の各分野の履

修科目はすべて「所属研究科の修了に必要な単位」として認定されます。なお、担当者については各研究科のページをご参照ください。

所属する研究科での論文指導  
(演習科目および必修科目)



経済学  
分野

- ☐ 租税論
- ☐ 公共経済学
- ☐ 租税制度論
- ☐ 経済政策論
- ☐ 財政学
- ☐ 社会政策論
- ☐ 金融経済論
- ☐ 新会計基準と法人税
- ☐ 税務会計実務

経営学  
分野

- ☐ 会計学研究
- ☐ 財務諸表論研究
- ☐ 管理会計論研究
- ☐ 中小企業経営論研究
- ☐ 監査論研究
- ☐ 経営戦略論研究

法学分野

- ☐ 会社法A
- ☐ 会社法B
- ☐ 租税法総論
- ☐ 所得税法
- ☐ 法人税法
- ☐ 租税手続法
- ☐ 租税争訟法
- ☐ 法情報処理
- ☐ 経済法
- ☐ 民法総則

年度により開講科目が変更されることがあります。



各研究科固有の自由選択科目



# 経済学研究科

京都太秦キャンパス

Graduate School of Economics

経済学専攻 修士課程

CONCEPT

研究科コンセプト

## 幅広い分析能力と問題解決能力を備えた 高度な職能を誇る人材の育成をめざします。

成熟化した日本の経済社会は、少子高齢化やグローバル化、さらにはICT化など先進国に共通する課題に加え、財政赤字の急増や経済格差の拡大など、今後その影響が深刻化するものと予想される諸問題に直面しています。本研究科は、現代経済社会の特性を踏まえつつ、国民生活の環境変化に伴う諸問題を分析し、広い視野に立って深い学識を修得し、高度な専門性が求められる職業を担うことのできる人材の育成をめざしています。講義科目は、経済学研究のための「理論分野」と「政策分野」に加え、税理士資格取得に役立つ「経営学・法学分野」から構成され、それぞれの研究テーマに応じて体系的に学びを深化させていきます。また所定の科目群(p.1参照)の単位を修得することにより、ファイナンシャルプランナーの国際資格「CFP」の受験資格が取得できる『CFP認定教育プログラム』も用意されています。



### 目指すキャリア

#### 経済社会活性化の担い手

- ☐ 民間企業
- ☐ 公務員

#### 金融経済の担い手

- ☐ 税理士
- ☐ 金融アナリスト

CURRICULUM

カリキュラム

経済学の標準的な教育プログラムに基づきつつ、政策形成能力の養成に必要な専門知識の修得を重視。大きくは講義科目と演習科目に分かれ、講義科目は経済学的な思考方法と分析方法を重視した「理論分野」と、現実の政策課題を多角

的・総合的に分析し考察する「政策分野」で構成。両分野に共通する科目群としての統計処理やコンピュータ処理に関する領域も充実しています。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>理論分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済学史</li> <li><input type="checkbox"/> 近代経済学史</li> <li><input type="checkbox"/> ミクロ経済学</li> <li><input type="checkbox"/> ミクロ経済分析</li> <li><input type="checkbox"/> マクロ経済学</li> <li><input type="checkbox"/> マクロ経済分析</li> <li><input type="checkbox"/> 計量経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 経済統計学</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列データ分析</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列モデル</li> <li><input type="checkbox"/> 情報科学</li> <li><input type="checkbox"/> 金融経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 国際経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 国際金融論</li> <li><input type="checkbox"/> 財政学</li> <li><input type="checkbox"/> 公共経済学</li> <li><input type="checkbox"/> 経済社会学</li> <li><input type="checkbox"/> 社会経済史</li> <li><input type="checkbox"/> 西洋経済史</li> <li><input type="checkbox"/> パーソナルファイナンス</li> <li><input type="checkbox"/> リスクの経済学</li> <li><input type="checkbox"/> リスク・マネジメント</li> <li><input type="checkbox"/> 不動産運用設計</li> </ul> | <p><b>【演習科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 理論経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 経済学史演習</li> <li><input type="checkbox"/> 計量経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 時系列解析演習</li> <li><input type="checkbox"/> 金融経済論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 社会経済史演習</li> </ul> | <p><b>政策分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 比較経済政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 公共政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 社会政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 産業政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 金融政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 財政政策論</li> <li><input type="checkbox"/> 地域経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 交通経済論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税制度論</li> <li><input type="checkbox"/> 税務会計実務</li> <li><input type="checkbox"/> 新会計基準と法人税</li> <li><input type="checkbox"/> 技術移転論</li> <li><input type="checkbox"/> 技術戦略論</li> </ul> | <p><b>【演習科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経済政策論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 公共経済学演習</li> <li><input type="checkbox"/> 地域経済論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 地域交通論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 租税論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 技術移転論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 社会政策論演習</li> <li><input type="checkbox"/> 租税法演習</li> </ul> | <p><b>経営学・法学分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 経営戦略論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 中小企業経営論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 会計学研究</li> <li><input type="checkbox"/> 監査論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 管理会計論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 財務諸表論研究</li> <li><input type="checkbox"/> 租税法総論</li> <li><input type="checkbox"/> 租税手続法</li> <li><input type="checkbox"/> 租税争訟法</li> <li><input type="checkbox"/> 所得税法</li> <li><input type="checkbox"/> 法人税法</li> <li><input type="checkbox"/> 民法総則</li> <li><input type="checkbox"/> 行政作用法</li> <li><input type="checkbox"/> 会社法A</li> <li><input type="checkbox"/> 会社法B</li> <li><input type="checkbox"/> 経済法</li> <li><input type="checkbox"/> 法情報処理</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

## 求める人物像

- 本研究科では、経済学部卒業者及びこれらと同等の学力を有する者で、かつ以下の条件を満たす者を受け入れる。
1. 高度な専門性を身につけて、社会の様々な分野で活躍する職業人を目指す者。
  2. 経済学に立脚しつつ経営学や法学等の学問領域横断的な問題に対する解答を見出したい者。

## TEACHING STAFF

## 教員紹介

|                                                           |                      |         |
|-----------------------------------------------------------|----------------------|---------|
| 跡田 直澄 教授                                                  |                      | 博士(経済学) |
| 担当                                                        | 財政学 財政政策論            |         |
| 科目                                                        |                      |         |
| 著書                                                        | 『社会保障一体改革への途』(清文社)   |         |
| 論文                                                        | 『企業税制改革』(日本評論社) ほか多数 |         |
| 税・財政・社会保障政策の家計・企業・マクロ経済に与える影響を実際のデータに基づいて分析し、政策のあり方を研究する。 |                      |         |

|                                                                                            |                         |  |       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|--|-------|
| 久下 沼 仁 教授                                                                                  |                         |  | 経済学修士 |
| 担当                                                                                         | 公共経済学 公共政策論 公共経済学演習     |  |       |
| 科目                                                                                         |                         |  |       |
| 著書                                                                                         | 『ポスト福祉国家の総合政策』(ミネルヴァ書房) |  |       |
| 論文                                                                                         | 『制度の経済学』(中央大学出版) ほか多数   |  |       |
| 政府による市場経済への介入がもたらす経済効果について、政府内部での政策決定に関する政治過程にも焦点を当てて分析する。また現代日本の具体的な政策課題への政府の対応の在り方を検討する。 |                         |  |       |

|                                                                                          |                                  |            |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------|
| 堀村 不器雄 教授                                                                                |                                  | 商学修士 公認会計士 |
| 担当                                                                                       | 租税論 租税制度論 税務会計実務                 |            |
| 科目                                                                                       | 新会計基準と法人税 租税論演習                  |            |
| 著書                                                                                       | 『会社税務事例250選』(共著:清文社)             |            |
| 論文                                                                                       | 『資本取引等をめぐる会計と税務』(監修:清文社)<br>ほか多数 |            |
| 日本の税法ないし税制について体系的に理解した上で、その現状と問題点、あるべき姿といった点について、各自が自分のテーマに従って深く掘り下げ、修士論文として完成させることを目指す。 |                                  |            |

|                                                                                |                                                                                                                             |       |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <b>渡辺 恵一 教授</b>                                                                |                                                                                                                             | 経済学修士 |
| 担当                                                                             | 経済学史 近代経済学史 経済学史演習                                                                                                          |       |
| 科目                                                                             |                                                                                                                             |       |
| 著書                                                                             | "Adam Smith's Politics of Taxation", in The Rise of Political Economy in the Scottish Enlightenment (Routledge, 2003). ほか多数 |       |
| 論文                                                                             |                                                                                                                             |       |
| 演習では、経済理論の書であると同時に歴史・政策・国家財政を体系的に記述したアダム・スミスの主著『国富論』(全5編)の読破を通じて現代経済学の源流を研究する。 |                                                                                                                             |       |

|                                                                                       |                                                                                                                                                                                        |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 澤田 吉孝 准教授                                                                             |                                                                                                                                                                                        | 博士(商学) |
| 担当                                                                                    | 金融経済論 経済政策論 金融経済論演習                                                                                                                                                                    |        |
| 科目                                                                                    |                                                                                                                                                                                        |        |
| 著書                                                                                    | "The Effectiveness of Unconventional Monetary Policy in USA," Proc. of the 45th ISICIE International Symposium on Stochastic Systems Theory and Its Applications (SSS' 13), 2013. ほか多数 |        |
| 論文                                                                                    |                                                                                                                                                                                        |        |
| 無知からくる「誤った政策」は、善意であっても災禍をもたらす。このことを念頭に最新の金融理論を用いて日本の金融政策を批判的に分析する。併せて金融を読み解く力の育成を目指す。 |                                                                                                                                                                                        |        |

|                                                                                      |                                                                                        |     |         |
|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------|
| <b>道和 孝治郎</b>                                                                        |                                                                                        | 准教授 | 博士(経済学) |
| 担当                                                                                   | 国際金融論 国際経済学                                                                            |     |         |
| 科目                                                                                   |                                                                                        |     |         |
| 著書                                                                                   | 『新しい開放マクロ経済学』に基づく金融政策の国際波及効果—ドル建て取引を仮定した日米ANIES3ヶ国モデルによる分析—(一橋大学『経済研究』59-1, 2008) ほか多数 |     |         |
| 論文                                                                                   |                                                                                        |     |         |
| 国際経済論、国際経済学の理論モデルを学ぶ。学部上級レベルの内容から始まり、最終的には、近年の両領域での最新トピックである『新しい開放マクロ経済学』の内容の修得を目指す。 |                                                                                        |     |         |

|                                                                                   |                           |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-------|
| 大野 彰 教授                                                                           |                           | 経済学修士 |
| 担当                                                                                | 社会経済史 西洋経済史 社会経済史演習       |       |
| 科目                                                                                |                           |       |
| 著書                                                                                | 『外国経営史の基礎知識』(共著:有斐閣) ほか多数 |       |
| 論文                                                                                |                           |       |
| 資料を集め、これに様々な解釈を加えることによって、歴史的な角度から経済について考察することが、本演習の目標である。受講生が興味をもって経済史を学べるようにしたい。 |                           |       |

|                                                         |                                                                    |      |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|
| <b>中条 潮 教授</b>                                          |                                                                    | 商学修士 |
| 担当                                                      | 交通経済論 地域交通論演習                                                      |      |
| 科目                                                      |                                                                    |      |
| 著書                                                      | 『規制破壊』(東洋経済)、『航空新時代』(ちくま新書)、『景気回復最後の切り札』(小学館文庫)、『航空幻想』(中央経済社) ほか多数 |      |
| 論文                                                      |                                                                    |      |
| 交通に限らずさまざまな社会経済活動に対する規制のありかたを主としてミクロ経済学と市場の失敗に基づいて議論する。 |                                                                    |      |

|                                                                                                                                   |                                    |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------|
| 村井 淳一 教授                                                                                                                          |                                    | 修士(法学) |
| 担当                                                                                                                                | 租税法演習 租税法総論 租税手続法                  |        |
| 科目                                                                                                                                |                                    |        |
| 著書                                                                                                                                | 『税務訴訟と要件事実論』(共著:清文社)               |        |
| 論文                                                                                                                                | 『中小企業の会計に関する指針ガイドブック』(共著:清文社) ほか多数 |        |
| すべての経済活動は税負担に影響を与える。税法の基礎理論を前提としつつ、「税目」ごとの知識にとどらず横断的な理解に主眼を置いて、現実の経済活動に税法を的確に当てはめるための理論的な思考力を身につけられるよう、院生の皆さんとともに議論し、研究していきたいと思う。 |                                    |        |

|                                                                      |                                                                                                                                                                                                                    |         |  |
|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--|
| 川崎 雄二郎 准教授                                                           |                                                                                                                                                                                                                    | 博士(経済学) |  |
| 担当                                                                   | ミクロ経済学   ミクロ経済分析   計量経済学   経済統計学                                                                                                                                                                                   |         |  |
| 科目                                                                   | 計量経済学演習                                                                                                                                                                                                            |         |  |
| 著書                                                                   | "One-to-many non-cooperative matching games," International Journal of Game Theory, 42(2), 2013, "Strategy-proof matching with regional minimum and maximum quotas," (共著) Artificial Intelligence, 235, 2016. ほか多数 |         |  |
| 論文                                                                   |                                                                                                                                                                                                                    |         |  |
| マッチング理論・ゲーム理論を用いて、社会における制度・システム・慣習などに潜む諸問題の構造を理解し、状況改善に向けて解決策の提案を行う。 |                                                                                                                                                                                                                    |         |  |

|                                                          |                                                                                           |          |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 清水 裕子 准教授                                                |                                                                                           | 博士(経営管理) |
| 担当                                                       | 経済政策論 比較経済政策論 経済政策論演習                                                                     |          |
| 科目                                                       |                                                                                           |          |
| 著書                                                       | "The Locavore's Dilemma." (Public Affairs, 2012(共著))                                      |          |
| 論文                                                       | "Blowing Hot Air on the Wrong Target?" (Frontier Center for Public Policy, 2016(共著)) ほか多数 |          |
| グローバル化が進む中での国際貿易・経済の発展とその効果と影響について、学際的に事例を踏まえながら学んでいきます。 |                                                                                           |          |

|                                                                              |                                                                                   |        |
|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 李 立栄 准教授                                                                     |                                                                                   | 博士(学術) |
| 担当                                                                           | 国際経済学                                                                             |        |
| 科目                                                                           |                                                                                   |        |
| 著書                                                                           | 『資本市場の変貌と証券ビジネス』、『変貌する金融と証券業』(ともに共著:日本証券経済研究所)、『パーソナルファイナンス研究の新しい地平』(共著:文眞堂) ほか多数 |        |
| 論文                                                                           |                                                                                   |        |
| 国際貿易、国際マクロ経済学に関する理論モデルを学習するとともに、現実直面する諸問題の実証分析の方法を身に付ける。修士論文を論理的に書くことを目標とする。 |                                                                                   |        |

|                                                                  |                              |        |
|------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------|
| 木藤 伸一朗 教授                                                        |                              | 修士(法学) |
| 担当                                                               | 行政作用法 行政救済法                  |        |
| 科目                                                               |                              |        |
| 著書                                                               | 「団体訴訟の可能性」(京都学国法学30・31号)     |        |
| 論文                                                               | 「公衆浴場と法」(立命館法学321・322号) ほか多数 |        |
| 行政法総論のうち、基本原理と行政作用法の部分を扱う。国や地方自治体が行う行政作用にはどのような種類があり、その法的な意味を学ぶ。 |                              |        |

|                                                      |                        |         |
|------------------------------------------------------|------------------------|---------|
| <b>平田 謙輔 教授</b>                                      |                        | 修士(経済学) |
| 担当                                                   | 経済社会学 社会政策論 社会政策論演習    |         |
| 科目                                                   |                        |         |
| 著書                                                   | 『社会保障の光と影』(高宮出版)       |         |
| 論文                                                   | 『W.レブケの経済・社会政策構想』 ほか多数 |         |
| 社会保障の意義と課題について理解を深めるとともに、福祉国家が抱える問題とその転換の方向について考察する。 |                        |         |

|                                                                                                          |                                                           |            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------|
| 村田 淑子 教授                                                                                                 |                                                           | 修士(アメリカ研究) |
| 担当                                                                                                       | 経済法 法情報処理                                                 |            |
| 科目                                                                                                       |                                                           |            |
| 著書                                                                                                       | 『英国競争法の最近の動向—競争・市場庁の創設を中心に』                               |            |
| 論文                                                                                                       | 『競争法の理論と課題』所収「欧州と日本における証券取引所グループの合併と競争法」(同志社法学71巻1号) ほか多数 |            |
| 「経済法」では、市場経済における「公正かつ自由な競争」を促進する独占禁止法について、主にカルテル規制を中心に検討する。「法情報処理」では、法学部出身者以外による法学の修士論文作成に必要なスキルの習得を目指す。 |                                                           |            |

|                                                                      |                                                                                        |  |         |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|
| <b>木口 武博 准教授</b>                                                     |                                                                                        |  | 博士(経済学) |
| 担当                                                                   | マクロ経済学   マクロ経済分析   理論経済学演習                                                             |  |         |
| 科目                                                                   | 時系列データ分析   時系列モデル   時系列解析演習                                                            |  |         |
| 著書                                                                   | "Immigration and Unemployment: A Macroeconomic Approach" Macroeconomic Dynamics (2017) |  |         |
| 論文                                                                   | ほか多数                                                                                   |  |         |
| 学部上級から大学院レベルのマクロ経済学に関心のある学生を受講対象として、現代マクロ経済学の理論や時系列解析の手法について学んでいきます。 |                                                                                        |  |         |

|                                                                                                      |                                           |       |                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------|-------------------|
| 土屋 貴裕 准教授                                                                                            |                                           |       | 修士(経済学) 博士(安全保障学) |
| 担当                                                                                                   |                                           |       |                   |
| 科目                                                                                                   | 産業政策論                                     | 地域経済論 | 地域経済論演習           |
| 著書                                                                                                   | 『現代中国の軍事制度:国防費・軍事費をめぐる党・政・軍関係』(勁草書房) ほか多数 |       |                   |
| 論文                                                                                                   |                                           |       |                   |
| 日本および東アジアの地域経済について、フィールドワークを実施したり、統計データや資料を利用して理解を深めていく。修士論文の執筆を通じて、地域が抱える課題を分析し、解決策としての経済産業政策を検討する。 |                                           |       |                   |

## MESSAGE FROM GRADUATE

## 修士生からのメッセージ

私は、2012年3月に大学院経済学研究科で学位を取得し、現在は京都の宇治支部に所属する税理士として仕事をしております。税理士という職業は、税法はもちろんのこと、実務をする上では、社会保険や労働保険等、様々な知識が必要となります。そのため、京都学国大学大学院で税法の基礎を学び、また、判例研究や多くの論文を読む機会があったことは、現在、仕事をしていく上でとても有意義な時間であったと思えます。税理士は、複雑かつ多様なケースごとに税務上の判断をしなければならない税法の専門家であるため、判例研究をすることで税法の解釈等をより深くかつ広範に学ぶことは大変重要です。いつの日にか、京都先端科学大学大学院の修士生の方々とお会いし、同じ税理士として仕事の話ができることを楽しみにしております。

経済学研究科修了 吉良 武人 さん

# 経営学研究科

京都太秦キャンパス

Graduate School of Business Administration

経営学専攻 修士課程

## CONCEPT

## 研究科コンセプト

## 経営的・会計的思考を駆使し 次代をリードする専門的職業人を養成します。

情報技術の進化やグローバル化の進展により、企業を取り巻く環境は激しく変化し続けています。さまざまな状況に対して柔軟且つ迅速に対応できる戦略的思考や判断が今後一層求められるのは言うまでもありません。本研究科では、今後の日本および国際社会において活躍できるビジネスパーソンと専門的職業人の育成をめざします。



## 目指すキャリア

## 企業経営の担い手

- ☐ 企業の経営企画部門
- ☐ 企業の戦略・戦術策定者
- ☐ 企業の中堅管理者
- ☐ 経営コンサルタント

## 税務・会計の担い手

- ☐ 企業の会計担当
- ☐ 税理士
- ☐ 資産運用
- ☐ 中小企業診断士

## 企業運営の担い手

- ☐ 中小企業・商店の起業家・経営者
- ☐ 企業のインtrapreneur (社内起業家)
- ☐ 企業・官公庁のプランナー
- ☐ 各種プロデューサー

## CURRICULUM

## カリキュラム

本研究科は、「経営管理科目群」「会計科目群」「情報科目群」におけるいずれかの演習、ならびに各自の研究テーマと関連する諸研究領域を通じて修士論文の

完成に向けて指導し、今後の社会に求められる能力・資質を育成します。

|             |                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経営管理<br>科目群 | <input type="checkbox"/> 経営管理論研究<br><input type="checkbox"/> 人的資源管理論研究<br><input type="checkbox"/> 経営組織論研究<br><input type="checkbox"/> マーケティング論研究<br><input type="checkbox"/> 中小企業経営論研究<br><input type="checkbox"/> 経営戦略論研究<br><input type="checkbox"/> 起業論研究 | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 経営管理論演習<br><input type="checkbox"/> マーケティング論演習<br><input type="checkbox"/> 経営戦略論演習<br><input type="checkbox"/> 経営組織論演習 |
|             | <input type="checkbox"/> 金融経済論<br><input type="checkbox"/> 経済政策論<br><input type="checkbox"/> 租税制度論<br><input type="checkbox"/> 財政学<br><input type="checkbox"/> 社会政策論                                                                                          | <input type="checkbox"/> 新会計基準と法人税<br><input type="checkbox"/> 公共経済学<br><input type="checkbox"/> 租税論<br><input type="checkbox"/> 税務会計実務                   |

|           |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                    |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会計<br>科目群 | <input type="checkbox"/> 会計学研究<br><input type="checkbox"/> 監査論研究<br><input type="checkbox"/> 財務諸表論研究<br><input type="checkbox"/> 管理会計論研究                                                                                               | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 会計学演習<br><input type="checkbox"/> 財務諸表論演習<br><input type="checkbox"/> 管理会計論演習                                                                                   |
| 情報<br>科目群 | <input type="checkbox"/> 情報管理論研究<br><input type="checkbox"/> 情報処理研究<br><input type="checkbox"/> アジア情報研究                                                                                                                                | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 情報管理論演習                                                                                                                                                         |
| 法学<br>科目群 | <input type="checkbox"/> 租税法総論<br><input type="checkbox"/> 会社法 A<br><input type="checkbox"/> 会社法 B<br><input type="checkbox"/> 法人税法<br><input type="checkbox"/> 租税手続法<br><input type="checkbox"/> 所得税法<br><input type="checkbox"/> 経済法 | <input type="checkbox"/> 法情報処理<br><input type="checkbox"/> 租税争訟法<br><input type="checkbox"/> 民法総則<br><input type="checkbox"/> 物権総論<br><input type="checkbox"/> 家族法<br><input type="checkbox"/> 契約法 |

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

## 求める人物像

本研究科は、本研究科修士課程の履修に必要とされる基礎的な能力を有し、なおかつ次のような資質を備えた人物を求める。

- 1.経営と会計に関する専門的な知識をバランスよくあわせもつ専門的職人の育成という本研究科の教育目的を理解している者。
- 2.すぐれた組織経営の原理の究明や、生きた経営の中でその課題を克服する実践的手法を修得する情熱をもっている者。
- 3.現実への幅広い問題意識と旺盛な探求心をもち、起業や事業承継などを志すフロンティア精神をもっている者。

## TEACHING STAFF

## 教員紹介

## 安達 房子 教授

修士(経営学)

| 担当<br>科目                                         | 経営組織論演習 経営組織論研究                                                       |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                         | 「ICTを活用した組織変革—マネジメントの視点からのテレワークの分析」(単著:晃洋書房)「組織能力と企業経営」(共著:晃洋書房) ほか多数 |
| 経営組織に関する諸理論の理解を深め、現実の企業組織の抱える諸問題を発見し解決する能力を育成する。 |                                                                       |

## 翁長 朝英 教授

博士(理学)

| 担当<br>科目 | 情報処理研究                                                      |
|----------|-------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | 「GNUstep入門」(ふくろう出版)「OSSアプリケーションとプログラミング言語についての一考察」(論文) ほか多数 |

## 袖川 芳之 教授

博士(経営管理)

| 担当<br>科目                                                                               | マーケティング論演習 マーケティング論研究                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                               | 「幸福の方程式」(共著:ディスカヴァー・トゥエンティワン)「低欲望社会における消費社会の変貌に関する研究—「欲望」の構造から読み解く消費の多様化—」(博士論文) ほか多数 |
| 常に変化し続ける経営環境をウォッチし、その変化のインパクトと影響を把握し、対応策をクリエイティブにデザインします。そのために人間と社会に関する理解を様々な視点から深めます。 |                                                                                       |

## 右近 潤一 准教授

修士(法学)

| 担当<br>科目 | 物権総論 契約法                                                                   |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | 「返品制度のあり方(特集2通信販売)」(現代消費者法30号)「ドイツ債務法現代化の経緯(1)(2完)」(共著:関大法)学64巻5号・6号) ほか多数 |

## 色川 豪一 講師

修士(法学)

| 担当<br>科目 | 家族法 民法総則                                                              |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | 「フランスにおける成年子扶養」(家族(社会と法)28号)「フランスにおける面会交流制度」(「面会交流と養育費の実務と展望」所収) ほか多数 |

## 小野里 光広 教授

修士(法学) 修士(国際経営学)

| 担当<br>科目 | 会社法                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | 「取締役の債権者に対する義務をめぐるイギリス法の展開」(京都学国法学75・76号)「カナダ法における会社の利益とステークホルダーの救済」(京都学国法学72・73号) ほか多数 |

## 倉田 致知 教授

修士(経済学)

| 担当<br>科目                                                                   | 経営管理論演習 経営管理論研究                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                   | 「やさしく学ぶ マネジメントの学説と思想」(共著:ミネルヴァ書房)「東アジア諸国の企業経営とグローバルイゼーション」(共著:晃洋書房) ほか多数 |
| 現実の企業の活動を経営理論に基づき論理的に捉えられるよう促すとともに、中核を担えるよう組織の全体的な仕組みを経営諸資源と関連付けて理解する力を育む。 |                                                                          |

## 藤川 義雄 教授

経営学修士

| 担当<br>科目                                                                                | 財務諸表論演習 財務諸表論研究                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                                | 『現代会計の思潮』(共著:同文館)『国際会計の基本問題』(共著:同文館) ほか多数 |
| 会計は現在、急激な変化の中にある。国際会計基準との差異解消という大きな課題を抱え、その論点はバラエティに富んでいる。問題の本質がどこにあるのか、学生とともに探究していきたい。 |                                           |

## 田中 秀樹 准教授

博士(政策科学)

| 担当<br>科目 | 人的資源管理論研究                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | "Impacts of Overtime Reduction on Psychological Well-Being for Japanese Research and Development Engineers: Positive and Negative Sides of Work Time Regulations" (共著: <i>Journal of Japanese Management</i> , Vol.1, No.1, pp.27-43)「次世代幹部人材の発掘と育成に関する研究(労働政策研究報告書No.194)」(共著:労働政策研究・研修機構) ほか多数 |

## 呉 綺 講師

博士(経営学)

| 担当<br>科目 | 管理会計論研究                                                                                                                        |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | 「中国におけるMFCAの展開」(共著:同文館出版、「マテリアルローコスト会計の理論と実践」所収)「補論中国における低炭素型サプライチェーン経営の調査分析結果」(共著:中央経済社、「低炭素型サプライチェーン経営—MFCAとLCAの統合—」所収) ほか多数 |

## 大島 博行 教授

修士(都市ビジネス)

| 担当<br>科目                                                                                         | 経営戦略論演習 経営戦略論研究                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                                         | 『「日本発」MBA 戦略&マネジメント[実践編]』(共著:中央経済社)『CKO—ナレッジを活かす経営』(共著:生産性出版) ほか多数 |
| ケーススタディを通じて、経営戦略に関する各種フレームワークを試し、その有効性と限界について各自の視点で検証する。実際の企業の現場でフレームワークを使いこなし、経営戦略を策定できる力を育成する。 |                                                                    |

## 新長 章典 教授

経済学修士

| 担当<br>科目                                                                                 | 情報管理論演習 情報管理論研究                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                                 | 『東アジアの経済発展』『ネットワーク型協調設計支援と設計プロセスに関する研究』 ほか多数 |
| 激変する情報環境と管理方法についてケーススタディ、その中から研究テーマを選んで実証研究を繰り返して、各自の視点での情報管理手法を策定、運用していくことができる力を育成していく。 |                                              |

## 山下 勤 教授

博士(文学)

| 担当<br>科目 | アジア情報研究                                                                                                                   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文 | "Some Notes on the Bheda(la)samhita" Dominik Wujastyk ed., <i>Mathematics in Sanskrit</i> , Delhi, 2008. pp.193-204. ほか多数 |

## 付 馨 准教授

博士(経営学)

| 担当<br>科目                                                                            | 会計学演習 会計学研究                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 著書<br>論文                                                                            | 『財務会計のイノベーション—公正価値・無形資産・会計の国際化による知の創造—』(共著:中央経済社)、『統合報告革命』(共著:税務経理協会) ほか多数 |
| 社会経済の発展に伴い、企業の在り方が変化し、企業会計もそれに応じて変わりつつある。基礎文献を渉猟しつつ、学術と実務の最新動向を掴み、会計学の諸問題を解決する力を育む。 |                                                                            |

# 人間文化研究科

Graduate School of Humanities and Social Sciences

人間文化専攻 修士課程

京都太秦キャンパス

CONCEPT

研究科コンセプト

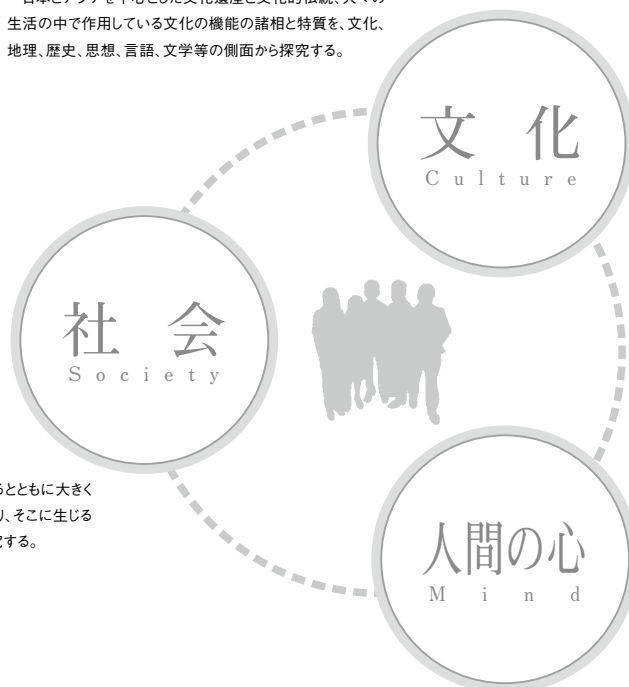
## 文化・社会・人間の心を複眼的に追究。 高度な専門職業人の養成をめざします。

人々の価値観が揺らぎ、人間関係を形成する社会システムも人間の心の中も、従来の価値体系では解決策を見いだせない現代。人間の生き方、社会システムの在り方、文化の機能を多角的に解明する学問の構築が求められています。人間文化研究科は、「文化研究」「社会情報」「心理学」の3つの教育研究領域を有機的に連関させ、高度な専門職業人の養成を追究。臨床心理学コースは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院で、初国家資格である「公認心理師」の受験資格も取得することができます。さらに、中学校教諭(社会)、高等学校教諭(地理歴史)の専修免許状が取得できます。



### 〈文化研究領域〉

日本とアジアを中心とした文化遺産と文化的伝統、人々の生活の中で作用している文化の機能の諸相と特質を、文化、地理、歴史、思想、言語、文学等の側面から探究する。



### 〈社会情報領域〉

各種メディアにおいて情報技術が発達するとともに大きく変動しつつある現代社会と文化の動向を探り、そこに生じる新たな社会的諸問題を理論的・実践的に研究する。

### 〈心理学領域〉

家庭・学校・地域社会などにおける実際の課題を発見し解決する人材を育成する「心理学コース」と、心の健康に関わる援助者としての心構えと知識、そして技能を備えた専門家を育成する「臨床心理学コース」の2つがある。人間の心の機能とその形成過程を解明する。

## 中・高等学校教育の担い手

- ☐ 中学校教諭(専修免許状/社会)
- ☐ 高等学校教諭(専修免許状/地理歴史)

## 人々の精神的健康の担い手

- ☐ 臨床心理士
- ☐ 公認心理師

## CURRICULUM

## カリキュラム

日本・アジアの文化と歴史を中心に研究する「文化研究コース」、現代の社会問題や情報メディアを研究する「社会情報コース」、認知・学習・発達・社会など心理学の各分野を研究する「心理学コース」、臨床心理士や公認心理師の受

験資格の取得をめざす「臨床心理学コース」(日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院)の4コースを設定。多様な領域の研究者が本科を構成し、複眼的な研究ができる環境を作っています。

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                        |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化研究<br>コース | <input type="checkbox"/> 人間文化基礎特論<br><input type="checkbox"/> 日本歴史文化特論<br><input type="checkbox"/> 日本言語文化特論<br><input type="checkbox"/> 日本古典文学特論<br><input type="checkbox"/> 文化地理特論<br><input type="checkbox"/> 文化人類学特論<br><input type="checkbox"/> 都市文化史特論<br><input type="checkbox"/> 英語言語学特論 | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 日本歴史文化研究演習<br><input type="checkbox"/> 日本言語文化研究演習<br><input type="checkbox"/> 日本古典文学研究演習<br><input type="checkbox"/> 文化地理研究演習<br><input type="checkbox"/> 文化人類学研究演習 |
|             | その他選択科目多数                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                        |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                               |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会情報<br>コース | <input type="checkbox"/> 人間文化基礎特論<br><input type="checkbox"/> 政治社会学特論<br><input type="checkbox"/> ジェンダー社会学特論<br><input type="checkbox"/> ジャーナリズム特論<br><input type="checkbox"/> 映像文化特論<br><input type="checkbox"/> 映像制作特論<br><input type="checkbox"/> 理論社会学特論<br><input type="checkbox"/> コミュニケーション社会学特論<br><input type="checkbox"/> マルチメディア特論<br><input type="checkbox"/> 広告広報特論<br><input type="checkbox"/> 図書館情報文化特論<br><input type="checkbox"/> 情報メディア法特論<br><input type="checkbox"/> 環境社会学特論 | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 社会学研究演習<br><input type="checkbox"/> ジェンダー社会学研究演習<br><input type="checkbox"/> ジャーナリズム研究演習<br><input type="checkbox"/> コミュニケーション社会学研究演習<br><input type="checkbox"/> 広告広報研究演習 |
|             | その他選択科目多数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                               |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                            |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 心理学<br>コース | <input type="checkbox"/> 人間文化基礎特論<br><input type="checkbox"/> 心理学研究法特論<br><input type="checkbox"/> 学習心理学特論<br><input type="checkbox"/> 認知心理学特論<br><input type="checkbox"/> 発達心理学特論<br><small>(福祉分野に関する理論と支援の展開)</small><br><input type="checkbox"/> 家族心理学特論<br><input type="checkbox"/> 社会心理学特論<br><input type="checkbox"/> 集団心理学特論<br><input type="checkbox"/> 障害児心理学特論<br><small>(福祉分野に関する理論と支援の展開)</small><br><input type="checkbox"/> 実験心理学特論<br><input type="checkbox"/> 計量心理学特論<br><input type="checkbox"/> 感情心理学特論<br><input type="checkbox"/> 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 心理学研究演習 |
|            | その他選択科目多数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                            |

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 臨床<br>心理学<br>コース | <input type="checkbox"/> 人間文化基礎特論<br><input type="checkbox"/> 臨床心理学特論<br><input type="checkbox"/> 臨床心理面接特論<br><small>(心理支援に関する理論と実践)</small><br><input type="checkbox"/> 臨床心理基礎実習<br><small>(心理実践実習)</small><br><input type="checkbox"/> 臨床心理実習<br><small>(心理実践実習)</small><br><input type="checkbox"/> 心理学研究法特論<br><input type="checkbox"/> 学習心理学特論<br><input type="checkbox"/> 認知心理学特論<br><input type="checkbox"/> 発達心理学特論<br><small>(福祉分野に関する理論と支援の展開)</small><br><input type="checkbox"/> 家族心理学特論<br><input type="checkbox"/> 社会心理学特論<br><input type="checkbox"/> 障害児心理学特論<br><small>(福祉分野に関する理論と支援の展開)</small><br><input type="checkbox"/> 精神医学特論<br><small>(保健医療分野に関する理論と支援の展開)</small><br><input type="checkbox"/> 心理療法学特論 | <input type="checkbox"/> 臨床心理関連行政論<br><input type="checkbox"/> 心身医学特論<br><input type="checkbox"/> 臨床心理学研究法特論<br><small>(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)</small><br><input type="checkbox"/> 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開<br><input type="checkbox"/> 産業・労働分野に関する理論と支援の展開<br><input type="checkbox"/> 心の健康教育に関する理論と実践 |
|                  | 【演習科目】<br><input type="checkbox"/> 臨床心理査定演習<br><small>(心理的アセスメントに関する理論と実践)</small><br><input type="checkbox"/> 臨床心理学研究演習                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | その他選択科目多数                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

## 求める人物像

本研究科は、本研究科修士課程の履修に必要とされる基礎的な能力を有し、なおかつ次のような資質を備えた人を求める。

文化研究コースでは、日本の文化遺産と文化的伝統、人々の生活の中で作用している文化の態様とその特質を地理、思想、歴史、言語、文学等の側面から教育研究したい者。

社会情報コースでは、各種メディアによる情報伝達技術に関心を持ち、現代の社会と文化に関する幅広い興味を有し、そこに生じる社会的諸問題の解決に寄与する能力を身につけたいと考えている者。

心理学コースでは、人間として基本的な心理と行動を対象として教育研究したい者。

臨床心理学コースでは、人間の心に関する深い理解を基礎にして、臨床心理学を専門的に修得し、心の健康に関わる援助者としての心構えと知識・技能を兼ね備えた心の専門家を目指す者。

## TEACHING STAFF

日本とアジアの文化と歴史、社会学、マスメディア論、心理学、臨床心理学など、多様な領域の研究者が一つの研究科を構成し、複眼的な研究ができる環境を作っています。経歴面では、アカデミックな経歴の長い者から、新聞社や病院な

どでの勤務経験が長く現場を熟知した研究者までが揃い、多様な研究アプローチが用いられています。

## 心理領域

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>有馬 淑子 教授</b> 博士(人間科学)</p> <p>担当科目 心理学研究演習 社会心理学特論 集団心理学特論</p> <p>著書 『シミュレーション世界の社会心理学』(ナカニシヤ出版)<br/>論文 『極端化する社会』(北大路書房) ほか多数</p> <p>社会心理学における発展的課題に各自で取り組む。英語文献を輪読し、データ解析・アクセス解析の実習を行う。</p>                                                                                                                                            | <p><b>岡本 裕介 教授</b> 学術修士</p> <p>担当科目 コミュニケーション社会学研究演習<br/>コミュニケーション社会学特論</p> <p>著書 『コミュニケーション社会学入門』(共著:世界思想社)<br/>論文 『G.H.ミードの行動主義と「I」の他者性』ほか多数</p> <p>コミュニケーションは社会の不可欠の構成要素である。さまざまな社会的現象をコミュニケーションという視点からとらえ、社会について考える。</p>                                    | <p><b>小川 賢治 教授</b> 文学修士</p> <p>担当科目 社会学研究演習 政治社会学特論</p> <p>著書 『勲章の社会学』(晃洋書房)<br/>論文 『基本的人権と日本社会のモダニティ』 ほか多数</p> <p>社会学の古典的な文献を研究することによって社会的な思考法を再確認し、並行して日本社会における民主主義の問題について考える。</p>                                                                             |
| <p><b>川畑 隆 教授</b> 文学修士 臨床心理士</p> <p>担当科目 臨床心理査定演習 心理療法特論<br/>臨床心理関連行政論 コミュニティ・アプローチ特論</p> <p>著書 『発達相談と援助～新版K式発達検査2001を用いた心理臨床～』(共著:ミネルヴァ書房) 『教師・保育士・保健師・相談支援員に役立つ子どもと家族の援助法』(明石書店) ほか多数</p> <p>各自がテーマを絞って研究を行い、それを修士論文にまとめていく作業の最初から最後までを共に歩むのが、このゼミの役割である。ゼミ生は自分の研究だけが進んでいけばよいと考えるのではなく、仲間のそれにも関心をもち互いにより影響を与え合ってほしい。</p>                   | <p><b>君塚 洋一 教授</b> 文学修士</p> <p>担当科目 広告広報研究演習 広告広報特論</p> <p>著書 『文化としてのテレビ・コマーシャル』(共著:世界思想社)<br/>論文 『イメージ編集』(共著:武蔵野美術大学出版局) ほか多数</p> <p>広告広報、消費財マーケティング、地域広報、表現文化などをテーマとする修士論文の執筆、作品の研究・制作を行う。</p>                                                                | <p><b>久保 克彦 教授</b> 文学修士 臨床心理士</p> <p>担当科目 臨床心理学研究演習 臨床心理学特論<br/>臨床心理実習 臨床心理査定演習</p> <p>著書 『実践 糖尿病の心理臨床』(医歯薬出版)<br/>論文 『糖尿病教育入院へのグループ療法導入の試み』(心理臨床学研究) ほか多数</p> <p>臨床心理学の理論や研究方法の理解を深めると共に、各自の研究テーマに即して研究計画を組み立て修士論文を作成する。この過程で、臨床心理学のより専門的な探究を推し進められるよう指導する。</p> |
| <p><b>内藤 登世一 教授</b> Ph.D(環境・資源経済学)</p> <p>担当科目 環境社会特論</p> <p>著書 『Mangrove Ecosystem in Asia: Current Status, Challenges and Management』(共著)<br/>論文 "Assessment of Japanese Recycling Policies for Home Electric Appliance: Cost-effectiveness Analysis and Socioeconomic and Technological Implications." Environmental Development ほか多数</p> | <p><b>山 愛美 教授</b> 博士(教育学) 臨床心理士</p> <p>担当科目 臨床心理学研究演習 臨床心理面接特論<br/>臨床心理実習 臨床心理学研究方法特論</p> <p>著書 『言葉の深みへ』(誠信書房)、『臨床風景構成法』(同)、<br/>論文 『黒の創造 香月泰男』(遠見書房) ほか日本人の精神性に関する英文論文も多数</p> <p>国内外の学術論文や著書などの文献を講読し、研究テーマを決定。各自の研究内容に即して、研究の目的、研究領域における位置付けを明らかにし、幅を広げる。</p> | <p><b>行廣 隆次 教授</b> 教育学修士</p> <p>担当科目 実験心理学特論 心理学研究方法特論 計量心理学特論</p> <p>著書 『コネクション・モデルと心理学—脳のシミュレーションによる心の理解—』(北大路書房) 『ワーキングメモリ内での処理と貯蔵のトレードオフ—数の処理と空間処理を用いた検討—』(『人間文化研究』) ほか多数</p>                                                                                |
| <p><b>伊原 千晶 准教授</b> 教育学修士 臨床心理士 公認心理師</p> <p>担当科目 臨床心理基礎実習 臨床心理学特論</p> <p>著書 『生命と魂—心身論の観点から—』<br/>論文 『臨床心理学とコミュニケーション』<br/>『心理臨床の法と倫理』 ほか多数</p>                                                                                                                                                                                              | <p><b>スティーブン リッチモンド 准教授</b> 修士(応用言語学)</p> <p>担当科目 英語言語学特論</p> <p>著書 『世界をもてなすシンプルな英会話』(学研プラス) [Teaching the Golden Rules of English Conversation] (共著) [The Immediate Method-Task-based Learning in Japanese University Conversation Classrooms] ほか多数</p>        | <p><b>橋本 尚子 准教授</b> 教育学修士 臨床心理士 公認心理師</p> <p>担当科目 臨床心理面接特論 学校臨床心理学特論</p> <p>著書 『分離による個の創造』(『心理臨床学研究』) [摂食障害の10代女性との心理面接] (共著 ミネルヴァ書房) [自己の刻印としての傷] (『箱庭療法学研究』) ほか多数</p>                                                                                          |
| <p><b>飯野 秀子 准教授</b> 教育学修士 臨床心理士 公認心理師</p> <p>担当科目 臨床心理基礎実習 臨床心理実習</p> <p>著書 『ロールシャッハ法における、査定者の臨床イメージ体験のあり方と機能』 [絵画表現の歴史から見たロールシャッハ法の陰影反応] ほか多数</p>                                                                                                                                                                                           | <p><b>服部 陽介 講師</b> 博士(心理学)</p> <p>担当科目 感情心理学特論</p> <p>著書 『記憶心理学と臨床心理学のコラボレーション』(共著、北大路書房) [講義中のマインドワンダーリングに対する意図的抑制とネガティブな気分の関係] (『パーソナリティ研究』) ほか多数</p>                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                  |

## 歴史文化領域

## 乳原 孝 教授

修士(文学)

|          |                         |
|----------|-------------------------|
| 担当<br>科目 | 人間文化基礎特論                |
| 著書       | 『エリザベス朝時代の犯罪者たち』(嵯峨野書院) |
| 論文       | 『怠惰』に対する闘い』(嵯峨野書院) ほか多数 |

## 佐々木 高弘 教授

教育学修士

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 担当<br>科目 | 文化地理研究演習 文化地理特論     |
| 著書       | 『民話の地理学』(古今書院)      |
| 論文       | 『怪異の風景学』(人文書院) ほか多数 |

広範にわたる文化地理学の各テーマについて、まず文化地理学の方法論を学び、各自研究テーマを設定する。その上でフィールドワーク、文献調査、ゼミでの討論等を経て修士論文の作成を目指す。

## 平 雅行 教授

博士(文学)

|          |                                                      |
|----------|------------------------------------------------------|
| 担当<br>科目 | 日本歴史文化研究演習 日本歴史文化特論                                  |
| 著書       | 『日本中世の社会と仏教』(塙書房)、『鎌倉仏教と専修念仏』(法蔵館)、『親鸞とその時代』(同) ほか多数 |
| 論文       |                                                      |

## 手塚 恵子 教授

文学修士

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 担当<br>科目 | 文化人類学研究演習 文化人類学特論                  |
| 著書       | 『中国広西壮族歌垣調査記録』(大修館書店)              |
| 論文       | 『京の筏 コモンズとしての保津川』(共著:ナカニシヤ出版) ほか多数 |

文化人類学は文化をフィールドワークし、それを分析する方法論を積み上げてきた。これらの基本的な文献を学び、その方法論を生かしてフィールドワークを行う。そこで得たデータを分析することを通じて、民族誌もしくは論文を書き上げる。

## 堀田 穰 教授

元文部事務官、国立民族学博物館情報管理施設資料室

|          |                                                  |
|----------|--------------------------------------------------|
| 担当<br>科目 | 都市文化史特論                                          |
| 著書       | 『都市福祉のバイオニア志賀志那人』(共著:和泉書院)                       |
| 論文       | 『紙芝居をつくらう』(共著:青弓社)『アート教育を学ぶ人のために』(共著:世界思想社) ほか多数 |

## 丸田 博之 教授

博士(文学)

|          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 担当<br>科目 | 日本言語文化研究演習 日本言語文化特論         |
| 著書       | 『伯楽と博労』(『国語語彙史の歴史』)         |
| 論文       | 『日葡辞書の編者とその周辺』(『国語国文』) ほか多数 |

先行研究を精査しながら、各人がいかなる事象を研究対象とするのかを十分検討した上でテーマを設定し、日本語学の問題点を明らかにすることに全力を注ぐことができるよう指導を行う。

## 山崎 ふさ子 教授

文学修士

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 担当<br>科目 | 日本古典文学研究演習 日本古典文学特論        |
| 著書       | 『元禄文学の流れ』(共著)              |
| 論文       | 『「夢」の鯉魚」と鯉魚図』(『国語国文』) ほか多数 |

何かひとつの作品、または作家や歌人などに焦点を合わせ、作品の内容や時代背景、先行作品との関係などについてどのように研究が進んできたかを検証する。

## 山本 淳子 教授

博士(人間・環境学)

|          |                                                                   |
|----------|-------------------------------------------------------------------|
| 担当<br>科目 | 日本古典文学研究演習 日本古典文学特論                                               |
| 著書       | 『紫式部集論』(和泉書院)『紫式部日記と王朝貴族社会』(同)『源氏物語の時代』(朝日新聞出版)『枕草子のたくらみ』(同) ほか多数 |
| 論文       |                                                                   |

平安時代の作品を選び、本文批判・考証・表現などの基礎作業を重ねたうえで、自分なりの読みの可能性に取り組む。

## 鍛冶 宏介 准教授

博士(文学)

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 担当<br>科目 | 日本歴史文化特論             |
| 著書       | 『海士町村上家文書調査報告書』(海士町) |
| 論文       | 『読書と読者』(共著、平凡社) ほか多数 |

## 関口 久雄 准教授

社会学修士 学際情報学修士

|          |                                      |
|----------|--------------------------------------|
| 担当<br>科目 | マルチメディア特論                            |
| 著書       | 『インターフェイス～コンピューターと対峙する時』(ひつじ書房) ほか多数 |
| 論文       |                                      |



## MESSAGE FROM GRADUATE

## 修了生からのメッセージ

私は現在、精神科病院の地域生活支援センターで臨床心理士として働いています。心の病や障害を抱えている方、その家族との相談や、障害者の方のデイケアが仕事です。大学院では理論や知識はもちろん、実習機関や大学付属の相談室での実践によって、実際にクライアントとどうかわればいいのか学べたことが今の仕事に役立っています。

一番印象的だったのは、先生が”ヨコの関係”についてお話されたことです。「医者と患者の関係は”治す・治される”という上下関係ですが、患者さんから学ぶことも多く、臨床心理士とは”教え・教えられる”ヨコの関係です。治してあげようという態度で臨むとかえってコミュニケーションがうまくとれず、疲れてしまいます」。そんな教えを常に心に、毎日仕事に向うようにしています。

人間文化研究科修了 田中 裕美子 さん

# バイオ環境研究科

京都亀岡キャンパス

Graduate School of Bioenvironmental Science

バイオ環境専攻 博士課程前期／博士課程後期

## CONCEPT

## 研究科コンセプト

[博士課程前期(2年)]

## バイオ環境実現のためのリーダーとして 活躍できるバイオ環境技術者を養成します。

バイオサイエンス、環境学および食農学を連携させ、人と共に多様な生き物が共生できる持続可能な地域環境（バイオ環境）を作り上げることを目標としています。

そのため授業科目は「バイオサイエンス領域」「バイオ環境デザイン領域」「食農領域」の研究分野科目と3分野関連科目が複合的に履修されるように構成されています。

これにより広い視野を持ち「バイオ環境」を実現するためのリーダー（バイオ環境技術者）を養成します。



## 目指すキャリア

## 高度なバイオ環境技術者

- |                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> バイオ関連企業 | <input type="checkbox"/> 農業関連企業   |
| <input type="checkbox"/> 環境関連企業  | <input type="checkbox"/> 公務員      |
| <input type="checkbox"/> 食品関連企業  | <input type="checkbox"/> 博士課程後期進学 |

## 中・高等学校教育の担い手

- |                                           |
|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 中学校教諭（専修免許状・理科）  |
| <input type="checkbox"/> 高等学校教諭（専修免許状・理科） |

[博士課程後期(3年)]

## バイオ環境実現のためのリーダーとして活躍できる より高度なバイオ環境技術者を養成します。

バイオサイエンス、環境学および食農学を連携させ、人と共に多様な生き物が共生できる持続可能な地域環境（バイオ環境）を作り上げることを目標とする、バイオ環境研究科の教育理念に基づき、博士課程後期では、3分野の複眼的な研究をさらに進めて「バイオ環境」の新しい研究領域を開拓し、企業の研究所やベンチャー企業でも、即戦力として技術開発や先端的な研究に取り組める、より高度なバイオ環境技術者を養成します。

## 目指すキャリア

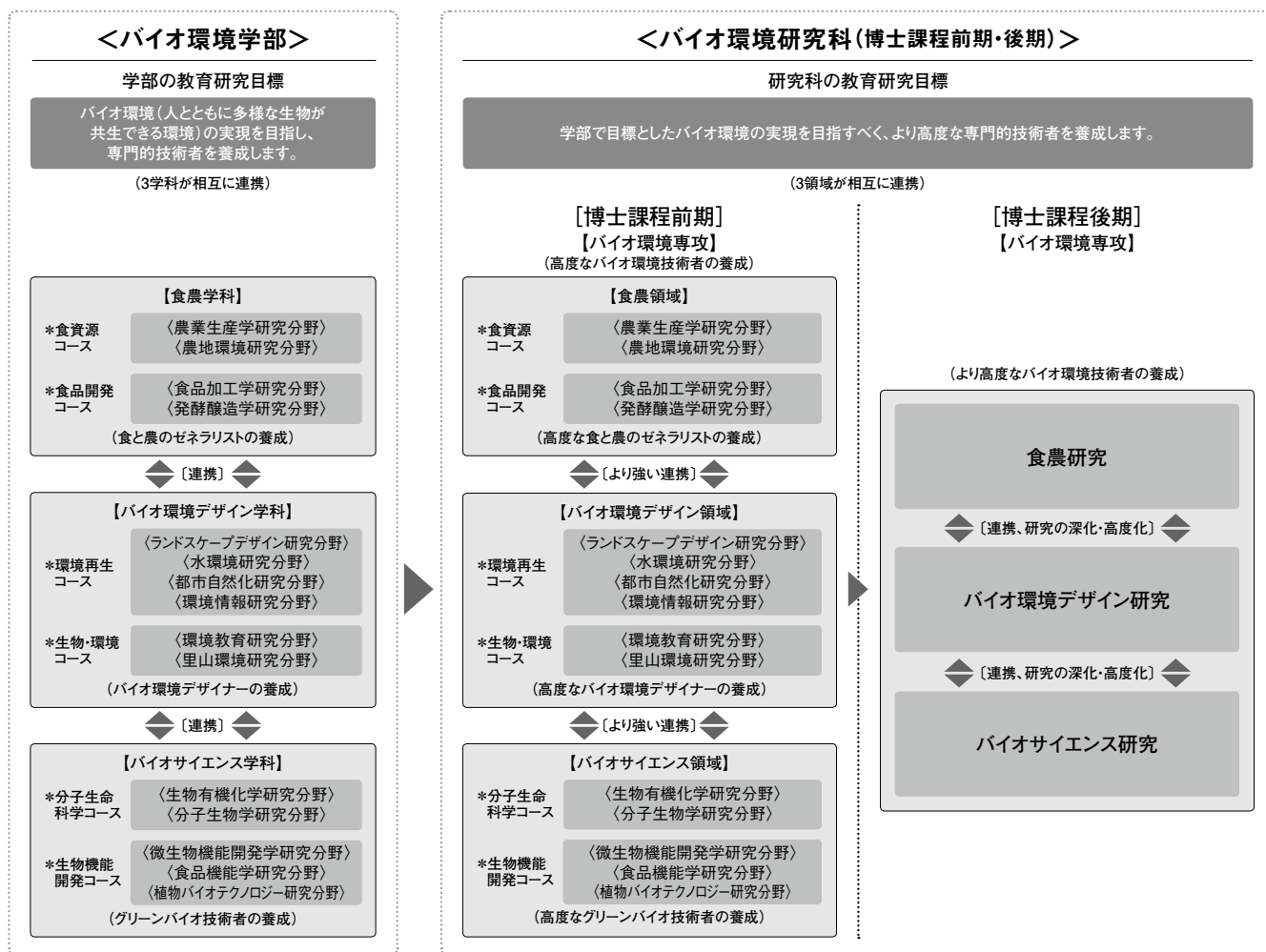
## より高度なバイオ環境技術者

- |                                  |                                 |
|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> バイオ関連企業 | <input type="checkbox"/> 農業関連企業 |
| <input type="checkbox"/> 環境関連企業  | <input type="checkbox"/> 公務員    |
| <input type="checkbox"/> 食品関係企業  |                                 |

## ◎ 社会人の受入 ◎

博士課程後期には社会人も受け入れます。ここで社会人とは、博士課程前期（修士課程）修了者あるいはそれと同等の学力を有する者で、勤務先（所属事業所や企業の長）から同意を得ている者をいいます。社会人としての専業と両立できるように、週末や休暇期間を使った指導を行い、また、日常的には電子メールなどを活用した指導を行います。社会人の経歴を勘案して、試験の一部を免除することがあります。

## 「バイオ環境学部」と「大学院バイオ環境研究科(博士課程前期・後期)」の関係説明図



## CURRICULUM

## カリキュラム

### ■博士課程前期

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究分野<br>関連科目 | <b>【演習科目】</b><br><input type="checkbox"/> 生物有機化学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 分子生物学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 微生物機能開発学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 食品機能学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 植物バイオテクノロジー特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> ランドスケープデザイン特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 水環境特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 都市自然化特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 環境教育特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 里山環境特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 農業生産学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 農地環境特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 食品加工学特別演習Ⅰ～Ⅳ<br><input type="checkbox"/> 発酵醸造学特別演習Ⅰ～Ⅳ | <b>【特別研究】</b><br><input type="checkbox"/> 生物有機化学特別研究<br><input type="checkbox"/> 分子生物学特別研究<br><input type="checkbox"/> 微生物機能開発学特別研究<br><input type="checkbox"/> 食品機能学特別研究<br><input type="checkbox"/> 植物バイオテクノロジー特別研究<br><input type="checkbox"/> ランドスケープデザイン特別研究<br><input type="checkbox"/> 水環境特別研究<br><input type="checkbox"/> 都市自然化特別研究<br><input type="checkbox"/> 環境教育特別研究<br><input type="checkbox"/> 里山環境特別研究<br><input type="checkbox"/> 農業生産学特別研究<br><input type="checkbox"/> 農地環境特別研究<br><input type="checkbox"/> 食品加工学特別研究<br><input type="checkbox"/> 発酵醸造学特別研究 |
|              | <b>【演習科目】</b><br><input type="checkbox"/> 科学英語演習Ⅰ～Ⅱ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|        |                                                                                                                                                                  |                                                                                                       |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門基礎科目 | <input type="checkbox"/> 分子生命科学特論<br><input type="checkbox"/> 生物機能開発特論<br><input type="checkbox"/> 環境再生特論                                                        | <input type="checkbox"/> 生物・環境特論<br><input type="checkbox"/> 食資源特論<br><input type="checkbox"/> 食品開発特論 |
| 関連科目   | <input type="checkbox"/> グリーンバイオ最先端技術特論<br><input type="checkbox"/> 環境デザイン最先端技術特論<br><input type="checkbox"/> 食農最先端技術特論<br><input type="checkbox"/> インターンシップ A、B |                                                                                                       |

### ■博士課程後期

|                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ<br><input type="checkbox"/> バイオ環境特別研究<br>※系統的なカリキュラムを特に設定せず、「特別演習」と「特別研究」を単位化することにとどめ、各自の研究に専念していただきます。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

年度により開講科目が変更されることがあります。

## ADMISSION POLICY

## 求める人物像

### ■博士課程前期

1. バイオサイエンスに強い関心を持ち、人類の健康と、快適かつ安全な生活に応用される最先端のバイオ技術やそれを応用する産業に意欲をもって携わりたい学生。
2. 自然と科学に興味をもち、持続可能な地球環境と地域社会を建設していくバイオ環境デザイナーをめざす学生。
3. 農業のあり方や農作物の加工に興味を持ち、これらに科学的な観点からアプローチし、遂行し、農産物を通じて地域の活性化に貢献したい学生。

### ■博士課程後期

バイオサイエンス研究とバイオ環境デザイン研究および食農研究のより積極的な連携や複眼的研究を更に進めて、「バイオ環境」というコンセプトでの新しい研究領域の模索を行い、新しい環境技術の創成を行おうとする学生。修士またはそれと同等の学力を持つ社会人も受け入れます。

TEACHING STAFF

バイオサイエンスと環境学の各分野をリードする研究者が集結して新しい「バイオ環境学」という新たな学問を創設しました。そこにさらに食農学の研究者も加わり、さらにバイオ環境学を発展させています。経歴面では、京都大学での教

育研究歴の長い教員が多く、また、その他の大学からの教員や、企業や行政で食品、薬品、環境などの分野で活躍した研究者も加わって、幅広い人材がそろっています。

食農領域

農業生産学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>河田 尚之 教授</b><br>修士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>佐藤 隆徳 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                | <b>北島 宣 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 担当 食資源特論 農業生産学特別演習Ⅰ～Ⅳ 農業生産学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論<br>[著書]『発行と醸造Ⅳ 食用作物の醸造適性』(光琳,2006)<br>[論文]Field evaluation of resistance to kernel infection and mycotoxin accumulation caused by <i>Fusarium head blight</i> in western Japanese wheat ( <i>Triticum aestivum</i> L.) cultivars, <i>Euphytica</i> 200, 81-93 (2014)<br>大麦など穀物の多収性、病害抵抗性および品質成分などに関わる遺伝的変異を明らかにし、それらの遺伝子を活用・集積し有用品種を効率的に育種する技術の開発を目指す。 | 担当 食資源特論 農業生産学特別演習Ⅰ～Ⅳ 農業生産学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究<br>[著書]『新編 野菜園芸ハンドブック』(養賢堂,2001,分担執筆)<br>[論文]Development of the Parthenocarpic Eggplant Cultivar 'Anominori', Japan Agricultural Research Quarterly (JARQ), 43, 123-127 (2009)<br>地域特産物となり得る高付加価値な野菜の品種育成と特性解明、さらに環境に配慮した持続可能な栽培技術の開発に取り組む。 | 担当 食資源特論 農業生産学特別演習Ⅰ～Ⅳ 農業生産学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論<br>[論文]Hybrid Origins of Citrus Varieties Inferred from DNA Marker Analysis of Nuclear and Organelle Genomes. PLOS ONE 0166969 (2016)<br>がんの起源・種分化の解明や種子形成に関する研究および無核性品種の育成を行っている。また、環境負荷を低減する農業生産を目指し、冬期に無暖房で栽培できる高品質トマト新品種を開発を試みている。 |

農地環境研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>藤井 孝夫 教授</b><br>修士(農学)                                                                                                                                                                                                                               | <b>藤井 康代 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                  |
| 担当 食品開発特論 農地環境特別演習Ⅰ～Ⅳ 農地環境特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論<br>[著書]『日本茶の魅力求めて』(大河書房,2005,共著)<br>[論文]京都府における茶樹の生育障害発生原因(京都府立茶業研究所研究報告 第22号 1996)<br>農作物の品質・収量と土壌管理方法との関係性を明らかにし、環境負荷の少ない生産技術の研究・開発に取り組む。特に、京都の伝統的な農作物である、宇治茶や京野菜を研究対象として研究を行う。 | 担当 食資源特論 農地環境特別演習Ⅰ～Ⅳ 農地環境特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[論文]採卵鶏飼料としての竹粉および自家発酵竹粉の有用性 Bamboo J., 29, 29-35 (2015)<br>タケを含む木質バイオマスについて、化学的手法による材料利用や生理的現象の解明を行うことで資源の有効活用、資源の持続的な供給を伴うバイオ環境の実現を目指している。 |

食品加工学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>安達 修二 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>四日 洋和 講師</b><br>博士(工学)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 担当 食品開発特論 食品加工学特別演習Ⅰ～Ⅳ 食品加工学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究 食農最先端技術特論<br>[著書]Introduction to Food Manufacturing Engineering (Springer, 2016,共著)<br>[論文]An accelerated method for estimating the dispersion stability of mayonnaise by oil-water separation under reduced pressure. <i>J. Am. Oil Chem. Soc.</i> , 95, 1367-1372 (2018)<br>食品の製造過程で生起する現象をプロセス工学および物理化学の観点から定量的に解析することにより、食品を合理的に製造するための基礎科学である食品工学の発展に寄与する。 | 担当 食品開発特論 食品加工学特別演習Ⅰ～Ⅳ 食品加工学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[論文]A simple method for determining the flaxseed or fish oil content in microcapsules prepared by spray drying. <i>Jpn. J. Food Eng.</i> , 15 (3), 131-139 (2014)<br>食品のおいしさ、香り、色、機能性を物理化学的視点から評価解析し、現在社会の多様なニーズに応える高機能食品の開発に貢献する。 |

発酵醸造学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>井口 博之 講師</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 担当 食品開発特論 発酵醸造学特別演習Ⅰ～Ⅳ 発酵醸造学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[論文]Stress resistance and C1 metabolism involved in plant colonization of a methanotroph <i>Methylosinus</i> sp. B4S. <i>Arch. Microbiol.</i> , 195, 717-726 (2013)<br>植物と共生する微生物の環境適応能力や発酵食品中の微生物の機能について、遺伝子工学・分子生物学技術を用いて研究し、微生物生態の理解と発酵醸造・作物栽培への応用展開を目指している。 |

バイオサイエンス領域

生物有機化学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>若村 定男 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 担当 分子生命科学特論 生物有機化学特別演習Ⅰ～Ⅳ 生物有機化学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[論文]Identification of (R)-2-butanol as a sex attractant pheromone of the white grub beetle, <i>Dasytrepia ishigakensis</i> (Coleoptera: Scarabaeidae), a serious pest of sugarcane in the Miyako Islands of Japan. <i>Appl. Entomol. Zool.</i> , 44, 231-239 (2009)<br>昆虫、特に作物害虫の行動を制御するフェロモンなどの情報化学物質とその機能を明らかにし、殺虫剤だけに頼らない環境にやさしい害虫防除法の開発につなげる研究に取り組んでいる。 |

分子生物学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>松原 守 教授</b><br>博士(薬学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 担当 分子生命科学特論 分子生物学特別演習Ⅰ～Ⅳ 分子生物学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[著書]MARCKSファミリータンパク質の構造と分子認識機構. <i>生物学</i> , 77, 50-55 (2005)<br>[論文]Crystal structure of a myristoylated CAP-23 / NAP-22 N-terminal domain peptide complexed with Ca <sup>2+</sup> / Calmodulin. <i>EMBO J.</i> , 23, 712-718 (2004)<br>様々な病気あるいは環境ストレスによって動物・植物細胞にもたらされる影響を細胞内シグナル伝達系の変化および関連するシグナル伝達タンパク質の関わりを通じて理解します。 |

微生物機能開発学研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>萩下 一郎 教授</b><br>博士(農学)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 担当 生物機能開発特論 微生物機能開発学特別演習Ⅰ～Ⅳ 微生物機能開発学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究 インターンシップ A, B<br>[論文]Breeding of a cyclic imide-assimilating bacterium, <i>Pseudomonas putida</i> s52, for high efficiency production of pyruvate. <i>Biosci. Biotechnol. Biochem.</i> , 77, 1650-1654 (2013)<br>独自性の高い産業技術の開発に向けた新規微生物の探索と基礎的・応用的な面から酵素化学的な微生物機能の解明に取り組んでいる。 |

清水 伸泰 准教授

博士(農学)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当 分子生命科学特論 生物有機化学特別演習Ⅰ～Ⅳ 生物有機化学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究<br>[論文]Biosynthetic pathway of aliphatic formates via a Baeyer-Villiger oxidation in mechanism present in astigmatid mites. <i>PNAS</i> , 114, 2616-2621 (2017)<br>土壌動物や昆虫が出すにおいを分析し、その化学構造やどのような行動に関わるのかを明らかにする。体内での生成機構を解明する基礎研究を遂行する一方、より発展的に新しい機能の応用を目指す。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

寶関 淳 准教授

博士(理学)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当 分子生命科学特論 分子生物学特別演習Ⅰ～Ⅳ 分子生物学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究<br>[論文]Mitochondrial impairment triggers cytosolic oxidative stress and cell death flowing proteasome inhibition. <i>Sci Rep</i> , 4, 5896 (2014)<br>神経変性疾患をはじめとする様々な疾患発症の原因となる細胞内タンパク質代謝の破綻とレドックス異常が互いにどのように関わっているのかをオルガネラレベルで解析し、その機構を解明する。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

櫻間 晴子 講師

博士(農学)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当 生物機能開発特論 微生物機能開発学特別演習Ⅰ～Ⅳ 微生物機能開発学特別研究<br>科目 バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究<br>[論文]1,3-1,4- $\alpha$ -L-fucosynthase that specifically introduces Lewis a/x antigens into type-1/2 chains. <i>J. Biol. Chem.</i> 287, 16709-16719 (2012)<br>微生物スクリーニング法により汚染物質の除去に有用な酵素を探索し、タンパク質工学的手法によりその酵素の機能改変を行うことで、それらを活用した環境調和型浄化技術の開発を目指している。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

バイオ環境デザイン領域

環境情報研究分野

|                                                                                                                   |                        |        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------|
| 田中 和博 教授                                                                                                          |                        | 博士(農学) |
| 担当<br>科目                                                                                                          | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究 |        |
| -----                                                                                                             |                        |        |
| [論文]LiDAR Introduces Revolutionary Changes in Its Approach to Forest Management.<br>J. For. Plan. 22, 39-46(2018) |                        |        |
| 森林に関する各種の環境情報を GIS (地理情報システム) などを用いて解析・評価するとともに、数値モデル等を活用して将来予測をしている。また、それらの結果を基に、森林をゾーニングしている。                   |                        |        |

水環境研究分野

|                                                                                                                                                                     |                                      |  |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--|--------|
| 金川 貴博 教授                                                                                                                                                            |                                      |  | 博士(農学) |
| 担当                                                                                                                                                                  | 環境再生特論 水環境特別演習Ⅰ～Ⅳ 水環境特別研究            |  |        |
| 科目                                                                                                                                                                  | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究 環境デザイン最先端技術特論 |  |        |
| -----                                                                                                                                                               |                                      |  |        |
| [著書]「ありがとう、微生物たち」(東洋書店,2013)                                                                                                                                        |                                      |  |        |
| [論文]Affinity capillary electrophoresis with magnetic beads for multiplex quantitative analysis of bacterial 16S rRNA. <i>J. Biosci. Bioeng.</i> , 107,662-667(2009) |                                      |  |        |
| -----                                                                                                                                                               |                                      |  |        |
| 良好な水環境の創出のために、水中に放出された汚染物質の除去技術、特に微生物を利用した汚染物質分解技術の研究と、そこで活躍する微生物の DNA を解析する研究などを行う。                                                                                |                                      |  |        |

都市自然化研究分野

|                                                                                 |                               |           |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-----------|
| 原 雄一 教授                                                                         |                               | 博士(地球環境学) |
| 担当                                                                              | 環境再生特論 都市自然化特別演習Ⅰ～Ⅳ 都市自然化特別研究 |           |
| 科目                                                                              | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究        |           |
| <hr/>                                                                           |                               |           |
| [著書]「京都を学ぶ(丹波編)」(ナカニシヤ出版,2018,共著)                                               |                               |           |
| [論文]世界主要都市114流域における水害脆弱性指標の開発. 水文・水資源学会,22,10-23(2009)                          |                               |           |
| バイオ環境の課題を解決するためのデザイン手法として、要素間の空間的な位置関係、空間形成の時間的な履歴、事象の相互の関連性、以上の3点を基本的アプローチとする。 |                               |           |

環境教育研究分野

|                                                                         |                              |        |
|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------|
| 大西 信弘 教授                                                                |                              | 博士(理学) |
| 担当                                                                      | 生物・環境特論 環境教育特別演習Ⅰ～Ⅳ 環境教育特別研究 |        |
| 科目                                                                      | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究       |        |
| <hr/>                                                                   |                              |        |
| [著書]保津の漁労「京の筏 コモンズとしての保津川」(ナカニシヤ出版, pp. 63-76, 2016)                    |                              |        |
| [論文]インドアルナチャール・プラデーシュ州、ウエスト・カメルン県およびタワン県の鳥類相、ヒマラヤ学誌, 17, 113-119 (2016) |                              |        |
| <hr/>                                                                   |                              |        |
| アジアの稲作圏の農地生態系は、多様な野生生物の生息環境でもある。アジアの農地生態系に学び、身近な環境で生物多様性との共生を目指す。       |                              |        |

食品機能学研究分野

|                                                                                                                     |                                 |  |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 矢野 善久 教授                                                                                                            |                                 |  | 博士(理学) |
| 担当                                                                                                                  | 生物機能開発特論 食品機能学特別演習Ⅰ～Ⅳ 食品機能学特別研究 |  |        |
| 科目                                                                                                                  | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究          |  |        |
| -----                                                                                                               |                                 |  |        |
| [著書]「ビタミンE研究の進歩」(ビタミンE研究会編,共立出版,1994)                                                                               |                                 |  |        |
| [論文]LIS1 and NDEL1 coordinate the plus-end-directed transport of cytoplasmic dynein.<br>EMBO J.,27,2471-2483 (2008) |                                 |  |        |
| 食品に含まれる機能成分、特に生活習慣病に対し予防や改善効果を持つ成分の探索法の開発とその成分の生理機能解析。                                                              |                                 |  |        |

|                                                                                                                                               |                                 |  |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 藤田 裕之 教授                                                                                                                                      |                                 |  | 博士(農学) |
| 担当                                                                                                                                            | 生物機能開発特論 食品機能学特別演習Ⅰ～Ⅳ 食品機能学特別研究 |  |        |
| 科目                                                                                                                                            | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究          |  |        |
| [著書] Marine nutraceuticals and functional foods, CRC press(2008)                                                                              |                                 |  |        |
| [論文] Efficacy and safety chinese black tea (Pu-Erh) extract in healthy and hypercholesterolemic subjects. Ann. Nutr. Metab., 53, 33-42 (2008) |                                 |  |        |
| 食品中には、未知の体調節機能を持つ物質が多く存在している。その中でも特にメタボリックシンドロームを中心に改善作用を示す食品を探索し、その活性成分の単離・構造決定、さらには構造活性相関にも取り組む。                                            |                                 |  |        |

ランドスケープデザイン研究分野

|                                                                    |                                           |           |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------|
| 丹羽 英之 准教授                                                          |                                           | 博士(地球環境学) |
| 担当                                                                 | 環境再生特論 ランドスケープデザイン特別演習Ⅰ～Ⅳ ランドスケープデザイン特別研究 |           |
| 科目                                                                 | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究                    |           |
| [著書]「景観の生態史観—攪乱が再生する豊かな台地」(京都通信社,2012)                             |                                           |           |
| [論文]流域単位で指標性の高い環境類型区分をつくる場合に適した河川植生データの取得方法、保全生態学研究,16,17-32(2011) |                                           |           |
| 河川を中心に景観生態学的なアプローチで自然環境の保全に資する研究を行っている。                            |                                           |           |

|                                                                                                                                                                                                                        |                           |  |        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|--|--------|
| 高澤 伸江 准教授                                                                                                                                                                                                              |                           |  | 博士(理学) |
| 担当                                                                                                                                                                                                                     | 環境再生特論 水環境特別演習Ⅰ～Ⅳ 水環境特別研究 |  |        |
| 科目                                                                                                                                                                                                                     | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅳ バイオ環境特別研究    |  |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                                                  |                           |  |        |
| [著書]「南極・北極の百科事典」国立極地研究所編(丸善,2004)                                                                                                                                                                                      |                           |  |        |
| [論文]Kasamatsu, N., S. Kawaguchi, S. Watanabe, T. Odate, and M. Fukuchi, Possible impacts of zooplankton grazing on dimethylsulfide production in the Antarctic Ocean. Can. J. Fish. Aquat. Sci., 61(5), 736-743 (2004) |                           |  |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                                                  |                           |  |        |
| 河川・湖沼・海洋など様々な水環境を対象として、人間活動が水環境に及ぼす影響や、水質変化や気候変化が生物群集に与える影響について研究を行っている。                                                                                                                                               |                           |  |        |

里山環境研究分野

|                                                                                                                                                                                                                 |                              |  |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--|----------|
| 鈴木 玲治 教授                                                                                                                                                                                                        |                              |  | 博士(地域研究) |
| 担当                                                                                                                                                                                                              | 生物・環境特論 里山環境特別演習Ⅰ～Ⅳ 里山環境特別研究 |  |          |
| 科目                                                                                                                                                                                                              | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究       |  |          |
| [論文] Effect of slash-and-burn on nutrient dynamics during the intercropping period of taungya teak reforestation in the Bago Mountains, Myanmar. <i>Tropical Agriculture and Development</i> , 53: 82-89 (2009) |                              |  |          |
| 東南アジアや日本の農山村において、生物資源の持続的利用を可能としてきた在来知に着目し、森林環境学、土壌学、地域情報学の観点から、地域の生態環境に調和した農業や森林利用の将来像を検討。                                                                                                                     |                              |  |          |

|                                                                                                                                                                                           |                              |        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------|
| 伊東 和彦 准教授                                                                                                                                                                                 |                              | 博士(理学) |
| 担当                                                                                                                                                                                        | 生物・環境特論 環境教育特別演習Ⅰ～Ⅳ 環境教育特別研究 |        |
| 科目                                                                                                                                                                                        | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究       |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                     |                              |        |
| 【論文】Simple practical processing of a large single crystal from a large amount of a complete stoichiometric mixture in two-component system. <i>J. Cryst. Growth</i> , 271, 398-402 (2004) |                              |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                     |                              |        |
| 酸化物の中で特にケイ酸塩を中心とした大型単結晶の合成とその物性の解析を行っている。これらの固体物性の理解はエネルギー環境に配慮した高効率素子の開発を可能にする。                                                                                                          |                              |        |

植物バイオテクノロジー研究分野

|                                                                                                                                                                                                                                    |                                             |        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------|
| 高瀬 尚文 教授                                                                                                                                                                                                                           |                                             | 博士(理学) |
| 担当                                                                                                                                                                                                                                 | 生物機能開発特論 植物バイオテクノロジー特別演習Ⅰ～Ⅳ 植物バイオテクノロジー特別研究 |        |
| 科目                                                                                                                                                                                                                                 | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究                      |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                                                              |                                             |        |
| 【論文】The improvement and enhancement of phyto-ingredients using new technology of genetic recombination. In <i>Biotechnology in Functional Foods and Nutraceuticals</i> . Eds.D.Bagchi,F.C.Lau,D.K.Ghosh,CRC Press,pp157-180 (2010) |                                             |        |
| <hr/>                                                                                                                                                                                                                              |                                             |        |
| 有限な地球における人類の活動と生存の持続を目的に、物質循環の流れを踏まえ、植物の機能を巧みに利用したバイオテクノロジーの研究開発に取り組んでいる。                                                                                                                                                          |                                             |        |

|                                                                              |                                                                                                                                                                                                                   |  |        |
|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|
| Prieto Rafael 准教授                                                            |                                                                                                                                                                                                                   |  | 博士(理学) |
| 担当                                                                           | 生物機能開発特論 植物バイオテクノロジー特別演習Ⅰ～Ⅳ 植物バイオテクノロジー特別研究                                                                                                                                                                       |  |        |
| 科目                                                                           | バイオ環境特別演習Ⅰ～Ⅵ バイオ環境特別研究                                                                                                                                                                                            |  |        |
| <hr/>                                                                        |                                                                                                                                                                                                                   |  |        |
| 論文                                                                           | The <i>axhs1/dwf4</i> auxin-hypersensitive mutant of <i>Arabidopsis thaliana</i> defines a link for integration of auxin and brassinosteroid mediated root elongation. <i>Plant Biotech.</i> , 32, 125-137 (2015) |  |        |
| 植物における環境ストレスへの適応、ファイトレメディエーション、栄養代謝、オーキシンやブラシノステロイドなどの植物ホルモンの調節機構などについて研究する。 |                                                                                                                                                                                                                   |  |        |

## 2020年度 大学院 入学試験ガイド

### ■募集研究科及び入学定員

| 研究科      | 専攻・コース           | 入学定員                            | 備 考                               |
|----------|------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 経済学研究科   | 経済学専攻・税理士養成コース   | 5名                              | ※選考方法については、<br>別冊入学試験要項を参照してください。 |
| 経営学研究科   | 経営学専攻・税理士養成コース   | 5名                              |                                   |
| 人間文化研究科  | 人間文化専攻           | 文化研究コース                         |                                   |
|          |                  | 社会情報コース                         |                                   |
|          |                  | 心理学コース                          |                                   |
|          |                  | 臨床心理学コース                        |                                   |
| バイオ環境研究科 | バイオ環境専攻          | 博士課程 前期<br>20名<br>博士課程 後期<br>3名 |                                   |
| 工学研究科    | 機械電気システム<br>工学専攻 | 博士課程 前期<br>15名<br>博士課程 後期<br>2名 |                                   |

### ■出願期間・選考日・合格発表日（2020年度、工学研究科では「A日程」は実施しません。）

|       | 出願期間                               | 選考日           | 合格発表日          |
|-------|------------------------------------|---------------|----------------|
| A 日 程 | 2019年9月9日(月)～9月24日(火)<br>(最終日消印有効) | 2019年10月5日(土) | 2019年10月18日(金) |
| B 日 程 | 2020年1月8日(水)～1月27日(月)<br>(最終日消印有効) | 2020年2月8日(土)  | 2020年2月18日(火)  |

### ■2019年度 学費等 納付金額(参考)

経済学研究科・経営学研究科・バイオ環境研究科

| 研究科別  |       | 経済学研究科            |                 | 経営学研究科            |                 | バイオ環境研究科          |                 |
|-------|-------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 費 目   |       | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) |
| 入 学 金 |       | 200,000円          | —               | 200,000円          | —               | 200,000円          | —               |
| 学 費   | 授 業 料 | 272,500円          | 272,500円        | 272,500円          | 272,500円        | 315,000円          | 315,000円        |
|       | 施設設備費 | 96,000円           | 96,000円         | 96,000円           | 96,000円         | 75,000円           | 75,000円         |
|       | 実験実習費 | —                 | —               | —                 | —               | 85,000円           | 85,000円         |
| 小 計   |       | 568,500円          | 368,500円        | 568,500円          | 368,500円        | 675,000円          | 475,000円        |
| 委託徴収金 | 学 会   | 2,000円            | —               | —                 | —               | —                 | —               |
| 合 計   |       | 570,500円          | 368,500円        | 568,500円          | 368,500円        | 675,000円          | 475,000円        |

#### 人間文化研究科

| コース別  |       | 文化研究コース・社会情報コース   |                 | 心理学コース            |                 | 臨床心理学コース          |                 |
|-------|-------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 費 目   |       | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) |
| 入 学 金 |       | 200,000円          | —               | 200,000円          | —               | 200,000円          | —               |
| 学 費   | 授 業 料 | 272,500円          | 272,500円        | 272,500円          | 272,500円        | 272,500円          | 272,500円        |
|       | 施設設備費 | 96,000円           | 96,000円         | 96,000円           | 96,000円         | 96,000円           | 96,000円         |
|       | 実験実習費 | —                 | —               | 10,000円           | 10,000円         | 40,000円           | 40,000円         |
| 小 計   |       | 568,500円          | 368,500円        | 578,500円          | 378,500円        | 608,500円          | 408,500円        |
| 委託徴収金 | 学 会 費 | 3,000円            | —               | 3,000円            | —               | 3,000円            | —               |
| 合 計   |       | 571,500円          | 368,500円        | 581,500円          | 378,500円        | 611,500円          | 408,500円        |

\*最終学歴が京都学国大学・京都先端科学大学(大学院含む)の方は、入学金100,000円(全研究科共通)、施設設備費半期分64,500円(バイオ環境研究科除く)となります。

### ■2020年度 学費等 納付金額(予定)

工学研究科

| 研究科別  |       | 工学研究科             |                 |
|-------|-------|-------------------|-----------------|
| 費 目   |       | 入学手続時納付<br>(春学期分) | 10月納付<br>(秋学期分) |
| 入 学 金 |       | 200,000円          | —               |
| 学 費   | 授 業 料 | 325,000円          | 325,000円        |
|       | 施設設備費 | 75,000円           | 75,000円         |
|       | 実験実習費 | 100,000円          | 100,000円        |
| 小 計   |       | 700,000円          | 500,000円        |
| 委託徴収金 | 学 会   | —                 | —               |
| 合 計   |       | 700,000円          | 500,000円        |

\*最終学歴が京都学国大学・京都先端科学大学(大学院含む)の方は、入学金100,000円。

\*上記内容は予定であり、変更となる場合があります。

## 大学院長期履修学生制度のお知らせ

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な者に限り、計画的に教育課程を履修し、修了する制度です。

### 1.適用研究科 全ての研究科に適用されます。

### 2.申請資格

- ①職業を有している者
  - ②育児、介護等の事情により、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
  - ③その他やむを得ない事情(身体の障がい、疾病等)を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者
- ※外国人留学生(在留資格「留学」を有する者)は申請できません。

### 3.履修期間

- ①修士課程・博士前期課程の長期履修計画期間は、標準修業年数2年を含み最大4年
- ②博士後期課程の長期履修計画期間は、標準修業年数3年を含み最大6年

### 4.申請手続

入学日の原則20日前までに次の書類をご提出ください。

- ①長期履修学生申請書
- ②在職証明書(職業を有する者)
- ③その他必要と認められる書類

### 5.授業料等の取扱

- ①履修計画期間(標準修業年数に長期履修期間年数を加えた期間)における授業料等の額は、標準修業年数(修士課程・博士前期課程2年、博士後期課程3年)分の授業料、施設設備費、実験実習費(以下「標準修業年数分学費総額」という。)を履修計画期間で除した額となります。
- ②履修計画期間に変更があった場合、標準修業年数分学費総額から、支払済み授業料等を差し引いた額を、残りの履修計画期間で除した額となります。

◎この件に関するお問い合わせは 入学センター 075-406-9270まで

## 交通案内

### 京都亀岡キャンパス

- JR京都駅より約30分  JR亀岡駅よりバス9分  
(本学学生料金110円)
- 阪急桂駅より約30分  阪急桂駅よりバス30分  
(本学学生料金240円/京都縦貫自動車道経由)
- JR桂川駅より約30分  JR桂川駅よりバス30分  
(本学学生料金240円/京都縦貫自動車道経由)

自動車・バイクでの通学時間

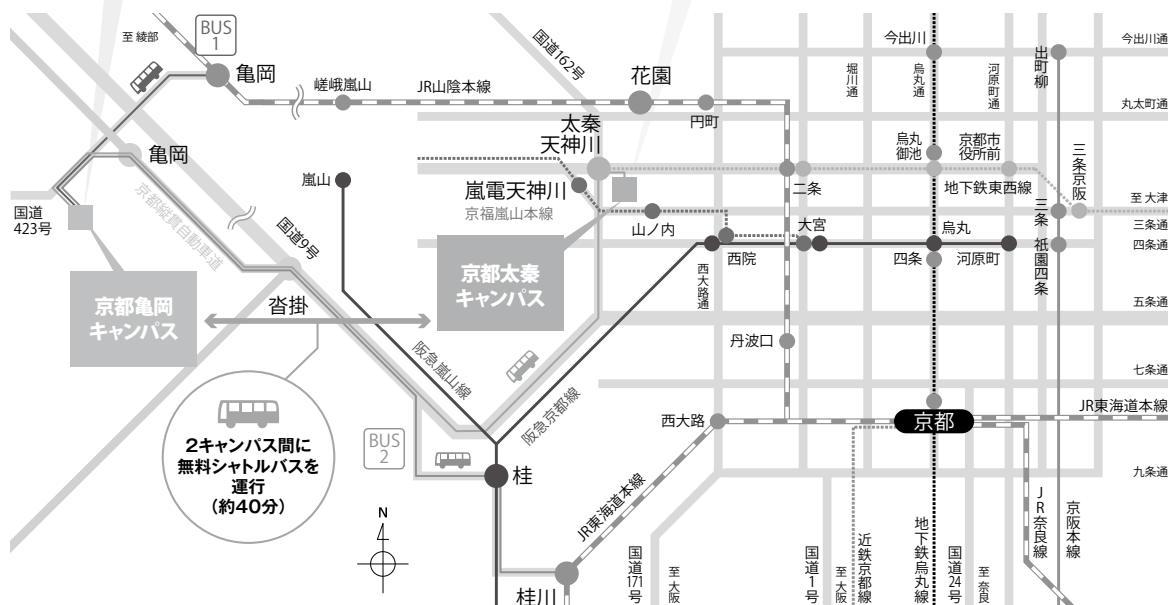
- 京都市西部から約25分
- 長岡京市から約25分
- 高槻市・茨木市・池田市・箕面市・川西市・猪名川町方面から約40分

自動車通学  
OK!

学生専用無料駐車場  
を完備!

### 京都太秦キャンパス

- 京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩約3分
- 京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩約5分





KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE

京都先端科学大学 大学院

<https://www.kuas.ac.jp/>

【入試に関するお問い合わせ】入学センター  
TEL／075-406-9270 E-Mail／nyushi@kuas.ac.jp



### 京都太秦キャンパス

〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18 TEL／075-406-7000(代表)

〔経済経営学部〕経済学科／経営学科 〔人文学部〕心理学科／歴史文化学科 〔健康医療学部〕看護学科／言語聴覚学科  
〔工学部〕機械電気システム工学科  
〔大学院〕経済学研究科(修士課程)／経営学研究科(修士課程)／人間文化研究科(修士課程)／  
工学研究科(博士課程前期・後期)



### 京都亀岡キャンパス

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1 TEL／0771-22-2001(代表)

〔バイオ環境学部〕バイオサイエンス学科／バイオ環境デザイン学科／食農学科 〔健康医療学部〕健康スポーツ学科  
〔大学院〕バイオ環境研究科(博士課程前期・後期)